



Cisco Unified IP Phone 7931G ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)

初版：2012年1月1日

最終更新：2012年6月18日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

はじめに xi

概要 xi

追加情報 xii

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル xiii

安全性とパフォーマンスに関する情報 xiii

停電 xiii

外部デバイス xiii

シスコ製品のセキュリティ xiv

アクセシビリティ機能 xiv

Cisco Unified IP Phone の機能 1

ボタンとハードウェア 2

回線およびコールの定義 5

回線およびコールのアイコン 6

電話スクリーンの機能 8

[アプリケーション] メニューのナビゲーション 9

電話機のヘルプ システム 10

機能のアベイラビリティ 10

シグナリング プロトコル SIP および SCCP 11

電力の節約 11

電話機の設置 13

Cisco Unified IP Phone 7931G 接続 13

電話機のケーブル ロック 14

ハンドセット受け台の調整 15

TAPS 登録 15

ヘッドセットのサポート 16

音声品質 16

| | |
|---|-----------|
| ワイヤレス ヘッドセット情報 | 16 |
| コール機能 | 19 |
| 基本コール オプション | 19 |
| 通話 | 20 |
| スピーカフォンを使用したコールの発信 | 20 |
| ヘッドセットを使用したコールの発信 | 21 |
| 番号のリダイヤル | 21 |
| 通話履歴からのダイヤル | 21 |
| 追加コール オプション | 21 |
| 別のコールがアクティブなときにコールを発信する (異なる回線を使用) | 22 |
| スピードダイヤル コール | 22 |
| 電話機の社内ディレクトリからのダイヤル | 23 |
| 話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときの通知 (折返し) | 23 |
| プライオリティ (Precedence) コール | 23 |
| 個人アドレス帳 (PAB) のエントリからのダイヤル | 24 |
| 課金コードまたはトラッキング コードを使用したコール | 24 |
| モバイル ボイス アクセスを使用した携帯電話からのコール | 24 |
| ファストダイヤル コール | 24 |
| PAB を使用したコール | 25 |
| コールへの応答 | 25 |
| コールの切断 | 27 |
| 保留と再開 | 28 |
| コールの保留 | 29 |
| 現在の回線のコールの保留の削除 | 29 |
| 複数のコール | 29 |
| 進行中のコールの移動 | 29 |
| 進行中のコールを携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機に切り替え (セッションハンドオフ) | 30 |
| 携帯電話からデスクの電話機への進行中のコールの切り替え | 30 |
| 携帯電話からの進行中のコールを、同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスへ 切り替える (セッションハンドオフ) | 30 |
| ミュート | 31 |

| | |
|---|----|
| コールのミュートまたはミュート解除 | 31 |
| コール転送 | 31 |
| 転送先の相手と会話しないでコールを転送 | 32 |
| 転送先の相手と会話してからコールの転送（打診転送） | 32 |
| ボイス メッセージ システムへのコールの転送 | 32 |
| アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールのボイス メッセージ システムへの送信 | 33 |
| コール転送 | 33 |
| 電話機からのすべてのコール転送の設定およびキャンセル | 34 |
| コール転送のセットアップまたはキャンセル | 35 |
| サイレント | 35 |
| DND のオンおよびオフの切り替え | 36 |
| DND 設定のセットアップ | 36 |
| 会議コール | 36 |
| アドホック会議 | 37 |
| 参加者にコールを発信した会議の開催 | 37 |
| 新しい参加者の会議への追加 | 37 |
| 会議への参加 | 38 |
| 単一電話回線の既存コールの結合 | 38 |
| 複数の電話回線の既存コールの結合 | 39 |
| ミーティング会議 | 39 |
| ミーティング会議の開催 | 39 |
| ミーティング会議への参加 | 40 |
| 会議参加者リスト | 40 |
| 参加者リストを使用した会議のコントロール | 40 |
| 電話会議のセキュリティを確認 | 41 |
| インターコム コール | 41 |
| 事前定義されたインターコム番号へのインターコム コールの発信 | 42 |
| 任意のインターコム番号へのインターコム コールの発信 | 42 |
| インターコム コールの受信 | 42 |
| 応用的なコール処理 | 43 |
| スピードダイヤル | 43 |

| | |
|--|----|
| スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信 | 43 |
| オンフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信 | 44 |
| オフフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信 | 44 |
| オフフック短縮ダイヤルを使用した会議の開始 | 44 |
| オフフック短縮ダイヤルを使用したコールの転送 | 45 |
| コール保留でのオフフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信 | 45 |
| ファストダイヤルを使用したコールの発信 | 45 |
| コール ピックアップ | 45 |
| コール ピックアップ グループ内の別の内線の呼び出し中コールへの応答 | 46 |
| コール ピックアップ グループ外の別の内線の呼び出し中コールへの応答 | 46 |
| グループまたは関連グループ内の別の内線での呼び出し中コールへの応答 | 47 |
| 特定の内線（回線番号）で呼び出し中のコールへの応答 | 47 |
| コール パーク | 47 |
| コール パークを使用したアクティブ コールの保存および受け取り | 48 |
| アクティブなコールのダイレクト コール パーク 番号への転送および保存 | 48 |
| パークされたコールのダイレクト コール パーク 番号からの取得 | 48 |
| 処理されたダイレクト コール パーク 番号でのアクティブ コールのダイレク ト、保存および取得 | 49 |
| ハント グループ | 49 |
| ハント グループのログインおよびログアウト | 50 |
| 共有回線 | 50 |
| リモートで使用中のアイコン | 50 |
| コール情報と割り込み | 50 |
| プライバシー | 50 |
| 共有回線情報 | 51 |
| 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを 防止または許可する | 51 |
| ビジー ランプ フィールド機能 | 52 |
| BLF ピックアップを使用した呼び出し中のコールへの応答 | 52 |
| セキュア コール | 53 |
| 不審なコールのトレース | 54 |
| システム管理者への不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信の通知 | 55 |

| | |
|---|----|
| プライオリティ コール | 55 |
| Cisco エクステンション モビリティ | 56 |
| EM へのログイン | 57 |
| EM からのログアウト | 57 |
| クレデンシャルの変更サービスを使用した PIN の変更 | 57 |
| [PIN の変更] ソフトキーを使用した PIN の変更 | 58 |
| 単一電話番号を使用したビジネス コール | 58 |
| モバイル コネクトおよびモバイル ボイス アクセス | 58 |
| 携帯電話で応答したコールの保留 | 60 |
| モバイル ボイス アクセスへの接続 | 60 |
| 携帯電話からのモバイル コネクトの有効化 | 60 |
| 携帯電話からのモバイル コネクトの無効化 | 61 |
| すべてのリモート接続先へのモバイル コネクトアクセスをデスクの電話機でオンまたはオフにする | 61 |
| ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ | 63 |
| ハンドセット | 63 |
| ヘッドセット | 64 |
| ワイドバンドヘッドセット | 64 |
| スピーカフォン | 65 |
| ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答 | 65 |
| 電話機のカスタマイズ | 67 |
| 呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ | 67 |
| 呼出音の変更 | 67 |
| 電話機の音量レベルの調整 | 68 |
| ハンドセットのボイス メッセージ ライトの動作の変更 | 68 |
| オーディオ ボイス メッセージ インジケータの変更 | 68 |
| 電話スクリーンのカスタマイズ | 68 |
| 電話スクリーンの明るさの変更 | 69 |
| 電話スクリーン言語の変更 | 69 |
| 回線テキスト ラベルの変更 | 69 |
| コントラストの調整 | 70 |
| バックライトの設定 | 70 |

通話履歴とディレクトリ 71**通話履歴 71**

通話履歴の表示 72

単一のコール レコード詳細の表示 72

すべての履歴からすべてのコール レコードの消去 72

1 つの履歴からすべてのコール レコードの消去 72

1 つのコール レコードの消去 73

通話履歴からのダイヤル (別のコールに接続していない状態) 73

通話履歴からのダイヤル (別のコールに接続した状態) 73

不在履歴および着信履歴からの国際コールのリダイヤル 74

ディレクトリ機能 74**社内ディレクトリ 75**

社内ディレクトリからのダイヤル (別のコールに接続していない状態) 75

社内ディレクトリからのダイヤル (別のコールに接続している状態) 75

パーソナルディレクトリ 76

パーソナルディレクトリへのアクセス (PAB およびファスト ダイヤル コードの検索のため) 76

PAB エントリの検索 77

PAB エントリからのダイヤル 77

PAB エントリの削除 77

PAB エントリの編集 78

新規 PAB エントリの追加 78

PAB エントリを使用しない新しいファスト ダイヤル コードの追加 78

ファスト ダイヤル コードの検索 79

ファスト ダイヤル コードを使用したコールの発信 79

ファスト ダイヤル コードの削除 79

パーソナルディレクトリからのログアウト 79

ボイス メッセージ 81

ボイス メッセージの識別 81

ボイス メッセージ サービスのセットアップ 82

ボイス メッセージの聞き取りまたはボイス メッセージ システムへのアクセス 82

ユーザ オプション Web ページ 83

| | |
|---|----|
| ユーザ オプション Web ページへのログイン、ログアウト | 83 |
| ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択 | 84 |
| ユーザ オプション Web ページの操作 | 84 |
| 設定オプションの選択 | 85 |
| Web 上での機能およびサービスの設定 | 85 |
| Web でのパーソナルディレクトリ | 85 |
| 新規個人アドレス帳エントリの追加 | 85 |
| 個人アドレス帳エントリの検索 | 86 |
| 個人アドレス帳エントリの編集 | 86 |
| 個人アドレス帳エントリの削除 | 86 |
| 回線ボタンの PAB への割り当て | 86 |
| アドレス帳同期ツール | 87 |
| ファストダイヤルのセットアップ | 87 |
| 個人アドレス帳エントリへのファストダイヤルコードの割り当て | 88 |
| 個人アドレス帳エントリを使用しない電話番号へのファストダイヤルコードの 割り当て | 88 |
| ファストダイヤルエントリの検索 | 88 |
| ファストダイヤル電話番号の編集 | 89 |
| ファストダイヤル個人アドレス帳エントリの削除 | 89 |
| ファストダイヤルの機能ボタンの割り当て | 89 |
| Web でのスピードダイヤルの設定 | 89 |
| スピードダイヤルボタンの設定 | 90 |
| 短縮ダイヤルコードの設定 | 90 |
| Web での電話機サービスのセットアップ | 90 |
| サービスの登録 | 91 |
| サービスの検索 | 91 |
| サービスの変更または解除 | 92 |
| サービス名の変更 | 92 |
| プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加 | 92 |
| ユーザ設定 | 92 |
| ブラウザのパスワードの変更 | 93 |
| PIN の変更 | 93 |

| | |
|---|-----|
| ユーザ オプションの言語の変更 | 93 |
| 電話機のディスプレイの言語の変更 | 94 |
| Web での回線の設定 | 94 |
| 回線ごとにコール転送を設定 | 94 |
| 回線ごとにボイス メッセージのインジケータの設定を変更 | 95 |
| 回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定の変更 | 95 |
| 電話機ディスプレイの回線テキスト ラベルの編集 | 96 |
| モバイル コネクト用の電話機およびアクセス リストの設定 | 96 |
| アクセス リストの作成 | 96 |
| 新しいリモート接続先の追加 | 97 |
| Cisco WebDialer | 98 |
| ユーザ オプション ディレクトリでの WebDialer の使用 | 98 |
| 別のオンライン社内ディレクトリ (ユーザのユーザ オプション ディレクトリ ではないもの) での WebDialer の使用 | 99 |
| WebDialer からのログアウト | 99 |
| WebDialer の初期設定の設定、表示または変更 | 99 |
| その他のオプション | 101 |
| トラブルシューティング | 103 |
| 問題 | 103 |
| ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない | 103 |
| 表示されないソフトキー | 104 |
| 折返しを使用できない | 104 |
| すべてのコールの転送エラー メッセージ | 105 |
| 電話機が反応しない | 105 |
| セキュリティ エラー メッセージ | 105 |
| [設定] メニューにアクセスできない | 106 |
| 電話機のトラブルシューティング データ | 106 |
| 品質レポート ツール | 106 |
| 保証 | 109 |
| シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定 | 109 |



はじめに




『Cisco Unified IP Phone 7931G ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)』では、Cisco Unified IP Phone 7931 のインストールおよび使用方法について説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- [概要, xi ページ](#)
- [追加情報, xii ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル, xiii ページ](#)
- [安全性とパフォーマンスに関する情報, xiii ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, xiv ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, xiv ページ](#)

概要

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

| 目的 | 操作 |
|--------------|--|
| 電話機について調べる | サポートが必要なときは、電話機の  () >  を押してください。 |
| 重要な安全情報を参照する | 安全性とパフォーマンスに関する情報, (xiii ページ) を参照してください。 |
| 電話機を接続する | 電話機の設置, (13 ページ) を参照してください。 |

| 目的 | 操作 |
|--------------------|---|
| 設置後に電話機を使用する | Cisco Unified IP Phone の機能 , (1 ページ) を参照してください。 |
| ボタンとソフトキーについて調べる | ボタンとハードウェア , (2 ページ) を参照してください。 |
| コールを発信する | 基本コール オプション , (19 ページ) を参照してください。 |
| コールを保留にする | 保留と再開 , (28 ページ) を参照してください。 |
| ミュートにする | ミュート , (31 ページ) を参照してください。 |
| コールを転送する | コール転送 , (31 ページ) を参照してください。 |
| 会議コールを発信する | 会議コール , (36 ページ) を参照してください。 |
| スピードダイヤルを設定する | スピードダイヤル , (43 ページ) を参照してください。 |
| 電話番号を共有する | コールピックアップ , (45 ページ) を参照してください。 |
| 電話機をスピーカフォンとして使用する | ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ , (63 ページ) を参照してください。 |
| 呼出音またはコールの音量を変更する | 呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ , (67 ページ) を参照してください。 |
| 不在履歴を表示する | 通話履歴 , (71 ページ) を参照してください。 |
| ボイス メッセージを聞く | ボイス メッセージ , (81 ページ) を参照してください。 |

追加情報

次の URL からシスコ製品の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

次の URL で Cisco Web サイトにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/>

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル

(SCCP 電話機のみ)。

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルでは、音声とアニメーションにより基本的なコール機能が説明されています。いくつかの電話機のモデルでは、ご使用のパーソナルコンピュータから e-ラーニング チュートリアルにオンラインでアクセスできます。ご使用の電話機のモデルの e-ラーニング チュートリアル (英語のみ) を探すには、次の URL でマニュアルの一覧を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html



(注) e-ラーニング チュートリアルは一部の Cisco Unified IP Phone では用意されていない場合があります。ただし、Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルを参照すると、Cisco Unified IP Phone に共通する機能の概要を学ぶことができます。

安全性とパフォーマンスに関する情報

次の項では、Cisco Unified IP Phone での停電および外部デバイスの影響について説明します。

停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。停電が発生した場合、電源が回復するまで、利用および緊急コールサービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

外部デバイス

シスコでは、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど)、ケーブル、コネクタの使用を推奨しています。

これらデバイスの品質および携帯電話や送受信兼用無線機などの他のデバイスとの近さによっては、まだ雑音が生じることがあります。そのような場合、シスコは次の対策の 1 つ以上を講じることを推奨します。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。

- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイス用のケーブル上にフェライトまたはその他類似のデバイスを使用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの性能を保証できません。



注意

EU 諸国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットのみを使用してください。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズは、視覚、聴覚、および運動が不自由な方向けにアクセシビリティ機能を用意しています。

これらの電話機に備わっている機能の詳細については、「[Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series](#)」を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>



第 1 章

Cisco Unified IP Phone の機能

Cisco Unified IP Phone 7931G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの発信の機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone 7931G は、中規模の電話機トラフィックで要求される通信要件と特定のコール要件を満たすように設計されています。専用の保留キー、リダイヤル キー、および転送キーがあり、コール処理が簡単になります。また、コール処理機能を拡張して生産性を向上させる機能をサポートしています。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス。
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページからのサービス。
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム。


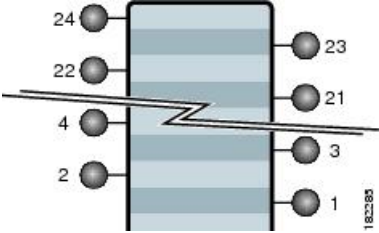

この章は、次の内容で構成されています。







- [ボタンとハードウェア, 2 ページ](#)
- [回線およびコールの定義, 5 ページ](#)
- [電話スクリーンの機能, 8 ページ](#)
- [\[アプリケーション\] メニューのナビゲーション, 9 ページ](#)
- [電話機のヘルプ システム, 10 ページ](#)
- [機能の可用性, 10 ページ](#)
- [シグナリング プロトコル SIP および SCCP, 11 ページ](#)
- [電力の節約, 11 ページ](#)


ボタンとハードウェア

次の図を使用して、電話機のボタンとハードウェアを特定できます。



| | アイテム | 説明 |
|---|--|--|
| 1 | プログラマブル ボタン  | <p>設定に応じて、プログラマブル ボタン（回線キー）で次の機能にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電話回線およびインターコム回線（回線ボタン） • スピードダイヤルの番号（BLF スピードダイヤル機能を含む、スピードダイヤル ボタン） • Web ベースのサービス（個人用アドレス帳ボタンなど） • コール機能（プライバシー、会議など） • ローカル機能（アプリケーション メニュー、ヘッドセット、設定など） <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑色、点灯：アクティブなコール、または双方向のインターコムコール ● 緑色、点滅：保留中のコール ● オレンジ、点灯：プライバシー使用中、一方方向のインターコムコール、サイレント、ハント グループにログイン中、ヘッドセットまたはその他のローカル機能が有効 ● オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール ● 赤、点灯：リモート回線が使用中です（共有回線、BLF ステータス、またはアクティブなモバイル コネクト応答コール）。 ● 赤、点滅：リモート コール保留中 <p>回線キーには、左から右に降順で24～1の番号が付けられています。</p>  |
| 2 | 紙ラベル | 各ボタンの回線情報または機能情報を識別できます。 |
| 3 | ソフトキー ボタン  | 各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。 |

| | アイテム | 説明 |
|----|---|---|
| 4 | 保留ボタン  | コールを保留にします。 |
| 5 | 転送ボタン  | コールを別の番号に接続します。 |
| 6 | リダイヤル ボタン  | 最後にダイヤルした番号に接続します。 |
| 7 | キーパッド | 電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。 |
| 8 | ミュート ボタン  | マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。 |
| 9 | 音量ボタン  | ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。 |
| 10 | スピーカ ボタン  | スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンをオンにすると、ボタンが点灯します |
| 11 | ハンドセット | 従来のハンドセットと同様に機能します。 |
| 12 | ハンドセット インジケータ ライト | 着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。着信コールの場合は点滅し、待機中のメッセージがある場合は点灯します。 |
| 13 | 電話スクリーン | 回線およびコールのステータス、電話番号、ソフトキーなどの情報を表示します。 |
| 14 | Cisco Unified IP Phone モデル | Cisco Unified IP Phone の型番を示します。 |

| | アイテム | 説明 |
|----|--|---|
| 15 | 4方向ナビゲーションパッドと 選択ボタン（中央）  | ナビゲーション ボタン <ul style="list-style-type: none"> • 上下にスクロールして、メニューを表示し、項目を強調表示します。 • 左にスクロールすると詳細ビューが開き、電話番号と各回線ボタンに割り当てられている機能が表示されます（コールスクリーン時）。 • 右にスクロールすると、詳細ビューが閉じます。 選択ボタン：ナビゲーション ボタンを使用してスクロールし、回線を選択した後、次のように機能します。 <ul style="list-style-type: none"> • ボタンが電話番号にマッピングされている場合 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 回線がアイドル状態のときは、を押して新規コールを発信します。 ◦ 回線に保留中のコールがあるときは、を押してコールを再開します。 ◦ 回線にアクティブなコールがあるときは、選択ボタンは機能しません。 • ボタンが機能にマッピングされている場合は、を押して機能にアクセスします。 |

回線およびコールの定義

回線とコールは、混同しやすい用語です。

- 回線：24 のプログラマブル ボタンがあります（[ボタンとハードウェア](#)、[\(2 ページ\)](#) を参照）。通常、システム管理者が、これらの回線の一部（最大 24）をコールの発信および受信の回線に割り当てます。各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号に対応しています。













一部の回線で同じ電話番号を共有し、別の回線で独自の電話番号を持つことができます。電話回線を表示するには、ナビゲーション ボタンでプログラマブル ボタン表示のリストをスクロールします（[電話スクリーンの機能](#)、[\(8 ページ\)](#) を参照）。












回線として設定されているボタンには、電話番号と、関連付けられているボタン番号が表示されます。たとえば、電話番号「3105」をボタン 1 に割り当てた場合、電話スクリーンに「3105:01」と表示されます。また、各回線にはアイコンが関連付けられており、目的の識別に役立ちます（[回線およびコールのアイコン](#)、[\(6 ページ\)](#) を参照）。


- コール：各回線で1つのコールをサポートできます。複数の回線が電話番号を共有している場合も、それぞれの回線が1つずつコールをサポートできます。

回線およびコールのアイコン

電話機には、回線およびコールの状態、および回線ごとの機能へのアクセシビリティの判断に役立つアイコンが表示されます。

| アイコン | 回線またはコールの状態 | 説明 |
|---|-----------------|---|
| コール状態 | | |
|  | オンフック回線 | この回線にはコール アクティビティがありません。 |
|  | オフフック回線 | 電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。 |
|  | 接続済みコール | 相手側に接続されています。 |
|  | コール転送が有効 | この回線ではコール転送が有効です。 |
|  | コール呼び出し中 | いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っているか、BLFで監視された回線が呼び出し中です (ビジーランプフィールド (BLF) ピックアップ)。 ビジーランプフィールド機能, (52 ページ) を参照してください。 |
|  | 保留 | コールが保留されています。 保留と再開, (28 ページ) を参照してください。 |
|  | リモート コールの保留 | 共有回線の別の電話機がコールを保留にしました。詳細については、 保留と再開, (28 ページ) を参照してください。 |
|  | リモート使用中 | 回線を共有している別の電話機にコールが接続されました。 共有回線, (50 ページ) を参照してください。 |
|  | 認証済みコール | セキュア コール, (53 ページ) を参照してください。 |
|  | 暗号化済みコール | セキュア コール, (53 ページ) を参照してください。 |
|  | インターコム回線はアイドル状態 | インターコム回線は使用されていません。 インターコム コール, (41 ページ) を参照してください。 |
|  | 一方向のインターコム | インターコム回線は、単方向で音声を送受信しています。詳細については、 インターコム コール, (41 ページ) を参照してください。 |

| アイコン | 回線またはコールの状態 | 説明 |
|---|---------------|--|
|  | 双方向のインターコム | インターコム発信者との双方向オーディオをアクティブにするには、インターコム回線を押します。 インターコム コール , (41 ページ) を参照してください。 |
| 機能アクセス | | |
|  | アプリケーションメニュー | アプリケーションメニューがこの回線キーに割り当てられています。 [アプリケーション] メニューのナビゲーション , (9 ページ) を参照してください。 |
|  | [設定] メニュー | [設定] メニューがこの回線キーに割り当てられています。 電話機のカスタマイズ , (67 ページ) を参照してください。 |
|  | [ディレクトリ] メニュー | [ディレクトリ] メニューがこの回線キーに割り当てられています。 通話履歴とディレクトリ , (71 ページ) を参照してください。 |
|  | [メッセージ] メニュー | [メッセージ] メニューがこの回線キーに割り当てられています。 ボイス メッセージ , (81 ページ) を参照してください。 |
|  | [サービス] メニュー | [サービス] メニューがこの回線キーに割り当てられています。 Web での電話機サービスのセットアップ , (90 ページ) を参照してください。 |
|  | ヘッドセット ボタン | このオプションを使用すると、電話機でヘッドセットを使用できます。詳細については、 ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ , (63 ページ) を参照してください。 |
|  | 会議ボタン | 会議がこの回線キーに割り当てられています。 会議コール , (36 ページ) を参照してください。 |
|  | その他のコール機能 | コール機能がこの回線キーに割り当てられています。機能を確認するには、アイコンの横にあるテキストの説明を参照してください。 |
|  | モビリティ | モビリティアクセスがこの回線キーに割り当てられています。 単一電話番号を使用したビジネス コール , (58 ページ) を参照してください。 |
|  | 機能が有効 | この回線キーに割り当てられているコール機能が有効です。機能を確認するには、アイコンの横にあるテキストの説明を参照してください。 |

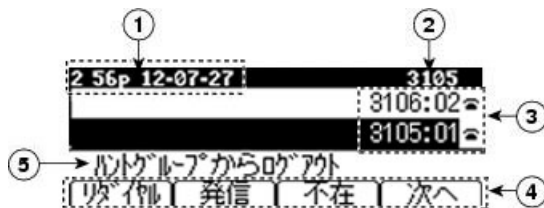
| アイコン | 回線またはコールの状態 | 説明 |
|---|---------------------------|--|
|  | スピードダイヤルまたはBLFスピードダイヤルボタン | スピードダイヤルボタンがこの回線キーに割り当てられています。 コールピックアップ 、(45 ページ)、 Web での電話機サービスのセットアップ 、(90 ページ)、および ビジューランプフィールド機能 、(52 ページ) を参照してください。 |


ヒント

回線キーの割り当てを思い出せるように、システム管理者が、印刷済みの紙ラベルを配布することがあります。配布されなかった場合は、白いラベルを外し、独自のラベルを作成します。

電話スクリーンの機能

次の図は、アイドル時の電話スクリーンの様子を示しています。このビューは「概要」です。



| | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 日時表示 | 現在の日付と時刻が表示されます。 |
| 2 | プライマリ電話回線 | プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。 |
| 3 | プログラマブルボタンのインジケータ | プログラマブルボタン  は、電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、スピードダイヤルボタン、電話サービスボタン、コール機能ボタン、またはローカル機能ボタンとして機能します。 アイコンとテキストの説明で、ボタンの設定方法が示されます。アイコンのリファレンスについては、 回線およびコールのアイコン 、(6 ページ) を参照してください。 |
| 4 | ソフトキーラベル | ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。 |
| 5 | ステータス行 | オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。 |

次の図は、コールに接続したときに表示される電話スクリーンを示します。このビューは「詳細」です。




| | | |
|---|-------|---|
| 1 | 概要 | すべての回線の回線番号とアイコン状態が表示されます。 |
| 2 | 詳細ビュー | <p>選択した回線キーに割り当てられているコールおよびローカル機能の詳細が表示されます。この例では、接続中のコールに関する情報（電話番号、接続時間、コールのステータスなど）が表示されています。ナビゲーションボタンを使用してスクロールすると、別の回線の詳細を表示できます。</p> <p>詳細ビューには、コールおよびローカル機能のラベル名とアイコンが表示されます。回線およびコールのアイコン、(6 ページ) を参照してください。</p> |

[アプリケーション]メニューのナビゲーション

ローカル電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

| 目的 | 操作 |
|------------------------------|--|
| アプリケーションメニューにアクセスする | ●>☒を押して、アプリケーションのリスト（[メッセージ]、[ディレクトリ]、[設定]、[サービス]、および[ヘルプ]）を表示します（通常、アプリケーションメニューは、左カラムの上部にある●ボタン 24 に割り当てられています）。 |
| リストまたはメニューをスクロールする | ナビゲーションボタンを使用します。 |
| メニュー項目を選択する | ナビゲーションボタンを使用してスクロールし、メニュー項目を強調表示して、●または[選択]を押します。または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。 |
| メニューの1つ前のレベルに戻る | [終了]を押します。メニューの最上位レベルで[終了]を押すと、メニューが閉じます。 |
| メニューを閉じる（そしてアプリケーションメニューに戻る） | [終了]を1回以上、メニューが閉じるまで押します。 |

| 目的 | 操作 |
|-------------------|---|
| アプリケーションメニューを終了する |  または [終了] を押します。 |


ヒント

一部のアプリケーションメニュー項目（[設定]、[ディレクトリ]、[サービス]、[メッセージ]）は、独自のボタンに割り当てられることもできます。ナビゲーションボタンを使用して概要ビューをスクロールし、[回線およびコールのアイコン](#)、[\(6 ページ\)](#) を参照して回線を識別してください。

電話機のヘルプシステム

この電話機は、包括的なオンラインヘルプシステムを備えています。

電話機のヘルプを表示するには、 >  > [ヘルプ] を押します。

通常、アプリケーションメニューは、左カラムの上部にある  ボタン 24 に割り当てられています。

機能のアベイラビリティ

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

ソフトキーを使うか回線キーを押すと、機能にアクセスできます。一部の機能を設定することができますが、ほとんどの機能はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

| 機能 | ソフトキー | 回線ボタンのラベルとアイコン |
|-----------|--------|--|
| 折返し | 折返し | 折返し▶ |
| コール転送 | 不在 | 不在転送▶ |
| コールパーク | パーク | パーク▶ |
| コールピックアップ | ピックアップ | ピックアップ▶ |
| 会議 | 会議 | 会議  |
| 会議参加者リスト | 参加者 | 会議参加者リスト▶ |
| サイレント | DND | サイレント● |

| 機能 | ソフトキー | 回線ボタンのラベルとアイコン |
|--------------|--------|---|
| 終了 | 終了 | 終了▶ |
| グループ ピックアップ | G ピック | グループ ピックアップ▶ |
| 保留 | 保留 |  ボタン |
| ハント グループ | ハント | ハント グループ▶ |
| 迷惑呼 ID | 迷惑呼 | 迷惑呼 ID▶ |
| ミーティング会議 | ミーティング | ミーティング▶ |
| モビリティ | モビリティ | モビリティ  |
| 発信 | 発信 | 発信▶ |
| 他グループ ピックアップ | 他グループ | 他グループ▶ |
| リダイヤル | リダイヤル |  ボタン |
| 会議の最終参加者の削除 | ドロップ | 最終参加者の削除▶ |
| 転送 | 転送 |  ボタン |
| ビデオ サポート | ビデオ | ビデオ  |

シグナリング プロトコル SIP および SCCP

システム管理者は、SIP（セッション開始プロトコル）または SCCP（Skinny Call Control Protocol）のいずれかのシグナリング プロトコルを使用して電話機を設定します。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルについては、システム管理者に問い合わせてください。

電力の節約

電話機は、Cisco EnergyWise プログラムをサポートしています。システム管理者は、節電のために電話機のスリープ（電源オフ）時間とウェイク（電源オン）時間を設定します。

オーディオアラートがシステム管理者によって有効になっている場合は、スケジュールされたスリープ時間の 10 分前に呼出音の再生が聞こえます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの 10 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 7 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 4 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 30 秒前に、呼出音は、15 回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生される

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話機をアクティブな状態のまま保つには、電話機の任意のキーを押します。どのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がオフになることを通知するメッセージが表示されます。

スケジュールされた時間に、電話機の電源はオンになります。スケジュール時間よりも前に電話機を復帰させるには、管理者に連絡してください。

復帰時間とスリープ時間は、設定済みの通常の労働日にもリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



第 2 章

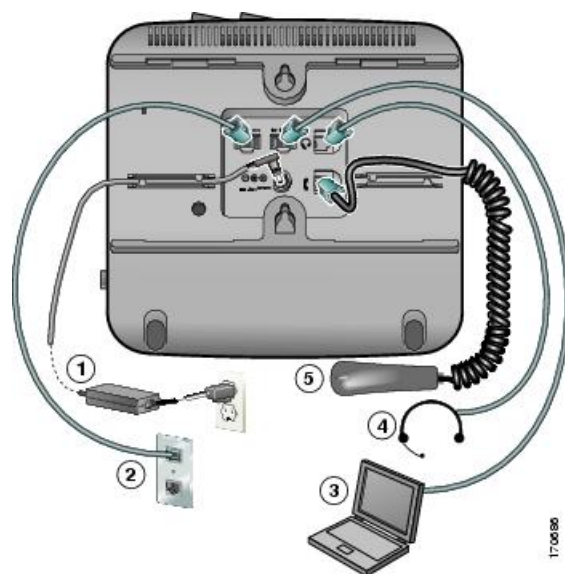
電話機の設置

この章は、電話機を手動で設置する方法について説明する、次の内容で構成されています。

- [Cisco Unified IP Phone 7931G 接続, 13 ページ](#)
- [ハンドセット受け台の調整, 15 ページ](#)
- [TAPS 登録, 15 ページ](#)
- [ヘッドセットのサポート, 16 ページ](#)

Cisco Unified IP Phone 7931G 接続

次の図および表に、電話機の接続方法を示します。



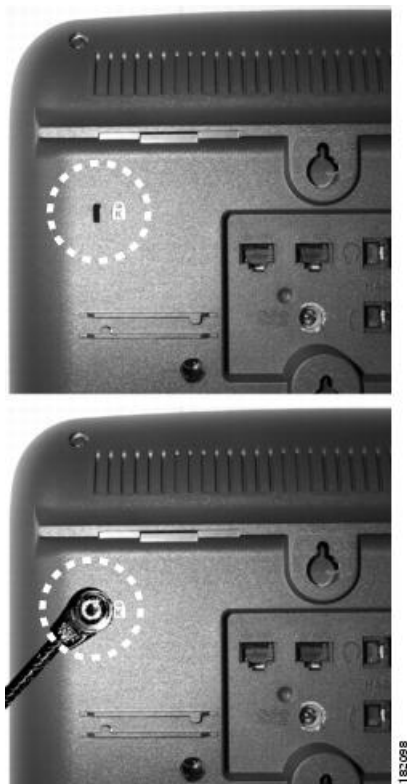
| | |
|---|------------------------|
| 1 | DC アダプタ ポート (DC48V) |
| 2 | ネットワーク ポート (10/100 SW) |
| 3 | アクセス ポート (10/100 PC) |
| 4 | ヘッドセット ポート |
| 5 | ハンドセット ポート |

電話機のケーブルロック

ラップトップケーブルロックを使用して、Cisco Unified IP Phone を卓上に固定できます。ロックを電話機の背面にあるセキュリティスロットに接続し、ケーブルを卓上に固定することができます。

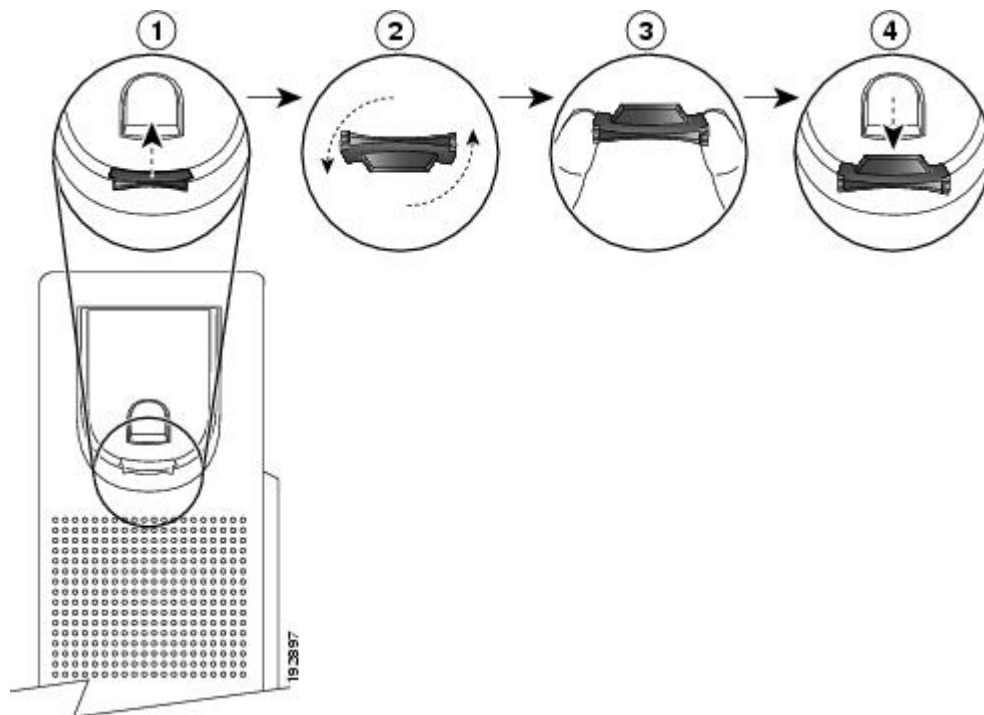
セキュリティスロットには最大 20 mm のケーブルを挿入できます。互換性のあるラップトップケーブルロックとして Kensington 製のラップトップケーブルロック、および電話機の背面にあるセキュリティスロットに適合するその他のメーカー製ラップトップケーブルロックがあります。次の図を参照してください。

図 1 : Cisco Unified IP Phone へのケーブルロックの接続



ハンドセット受け台の調整

電話機が壁に取り付けられている場合は、ハンドセットが受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



手順

-
- ステップ1 ハンドセットを外し、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
 - ステップ2 タブを180度回します。
 - ステップ3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
 - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
 - ステップ5 ハンドセットをハンドセット受け台に戻します。
-

TAPS 登録

TAPSは、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。TAPSに登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供されたTAPS内線番号を入力し、音声プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場

合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットのサポート

シスコでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内で若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコでは、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) が遮蔽された、高品質ヘッドセットの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。またハム音が、相手方だけに聞こえる場合もあれば、Cisco IP Phone のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。



(注) 場合によっては、ハム音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

このように、Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する可能性があるため、すべての環境に適した単一のヘッドセットは存在しません。ヘッドセットの購入を決定し大規模に展開する前に、それらのヘッドセットについて予想される環境でテストしパフォーマンスを測定することを推奨します。

関連トピック

外部デバイス, (xiii ページ)

音声品質

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコが特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することは不可能です。しかし、大手メーカーのさまざまなヘッドセットについて、Cisco Unified IP Phone で良好に作動することが報告されています。詳細については、ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

ワイヤレス ヘッドセット情報

ワイヤレス ヘッドセットのリモート フックスイッチ コントロール機能と組み合わせて使用できる無線ヘッドセットについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/pcgi-bin/ctdp/Search.pl>

- 1 [ソリューションの入力] ドロップダウンリストボックスで[IP 通信]を選択します。[ソリューションカテゴリの選択] ドロップダウンリストボックスが表示されます。
- 2 [IP Phone ヘッドセット]を選択して、テクノロジー開発プログラムパートナーのリストを表示します。

特定のテクノロジー開発プログラムパートナーを検索する場合は、[会社名の入力]ボックスにパートナー名を入力してください。



第 3 章

コール機能

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



この章は、次の内容で構成されています。

- [基本コール オプション, 19 ページ](#)
- [追加コール オプション, 21 ページ](#)
- [コールへの応答, 25 ページ](#)
- [コールの切断, 27 ページ](#)
- [保留と再開, 28 ページ](#)
- [複数のコール, 29 ページ](#)
- [進行中のコールの移動, 29 ページ](#)
- [ミュート, 31 ページ](#)
- [コール転送, 31 ページ](#)
- [ボイス メッセージ システムへのコールの転送, 32 ページ](#)
- [コール転送, 33 ページ](#)
- [サイレント, 35 ページ](#)
- [会議コール, 36 ページ](#)
- [インターコム コール, 41 ページ](#)
- [応用的なコール処理, 43 ページ](#)

基本コール オプション

次の手順では、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか説明します。

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[ダイヤル]を押すか、 (☎) または  を押します。
- プレダイヤルすると、これからダイヤルしようとする番号候補として、発信履歴ログに一致する番号があれば、その番号が電話機に表示されます。この機能を自動ダイヤルと呼びます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、オフフックにするか [選択] を押します。
- 間違ってダイヤルした場合は、[<<] を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話機の [録音] を押して、録音を開始または停止できます。
- ご使用の電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

関連トピック

[ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ、（63 ページ）](#)
[通話履歴、（71 ページ）](#)


通話

手順

ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。

スピーカフォンを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1**  を押します。
- ステップ 2** 番号を入力します。
-

ヘッドセットを使用したコールの発信

手順

- (☎) を押して、番号を入力します
(通常、ボタン 23 がヘッドセットに割り当てられます)。

番号のリダイヤル

手順

- 🔄 を押して、最後の番号をダイヤルします。

通話履歴からのダイヤル

手順

-
- ステップ 1 ● を押し、[ディレクトリ] を選択します。
 - ステップ 2 次のオプションのいずれかを選択します。
 - 不在履歴
 - 着信履歴
 - 発信履歴
 - ステップ 3 番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。
-

追加コールオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信できます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

ヒント

- エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信するには、電話機のエクステンション モビリティ サービスにログインします。


- スピードダイヤルが関連付けられている回線にコールを発信する前に、その回線が話し中かどうかを確認するには、話し中回線機能インジケータを見ます。

関連トピック

- [Cisco エクステンション モビリティ, \(56 ページ\)](#)
- [ビジー ランプ フィールド機能, \(52 ページ\)](#)
- [保留と再開, \(28 ページ\)](#)
- [スピードダイヤル, \(43 ページ\)](#)
- [通話履歴, \(71 ページ\)](#)
- [プライオリティ コール, \(55 ページ\)](#)
- [パーソナルディレクトリ, \(76 ページ\)](#)
- [単一電話番号を使用したビジネス コール, \(58 ページ\)](#)
- [Web でのパーソナルディレクトリ, \(85 ページ\)](#)
- [ファストダイヤルのセットアップ, \(87 ページ\)](#)

別のコールがアクティブなときにコールを発信する（異なる回線を使用）



手順

-
- ステップ 1** 新しい回線の  を押します。最初のコールは、自動的に保留になります。
 - ステップ 2** 番号を入力します。
-

スピードダイヤル コールの発信


手順

次のいずれかを実行します。

- a)  () を押します。
- b) 短縮ダイヤル機能を使用します。
- c) ファストダイヤル機能を使用します。

電話機の社内ディレクトリからのダイヤル

手順

-
- ステップ1  (☎) >[ディレクトリ]>[社内ディレクトリ]を押します
 - ステップ2 (名前は異なる場合があります)。
 - ステップ3 名前を入力して、[検索]を押します。
 - ステップ4 該当のエントリを選択し、オフフック状態にします。
-

話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときの通知（折返し）



(注) コールが監察されている場合は、コール観察者は[折返し]を使用できません。

手順

-
- ステップ1 ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し]を押します。
 - ステップ2 電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。
 - ステップ3 再びコールを発信します。
-


プライオリティ（Precedence）コールの発信

手順

-
- ステップ1 MLPP アクセス番号を入力します。
 - ステップ2 電話番号を入力します。
-

個人アドレス帳 (PAB) のエントリからのダイヤル

手順

-
- ステップ 1**  (☎) > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を押してログインします。
- ステップ 2** [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。
-

課金コードまたはトラッキングコードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ 1** 番号をダイヤルします。
- ステップ 2** トーンが鳴ったら、クライアント識別コード (CMC) または強制承認コード (FAC) を入力します。
-

モバイル ボイス アクセスを使用した携帯電話からのコールの発信

手順

-
- ステップ 1** モバイル ボイス アクセス番号および PIN をシステム管理者から入手します。
- ステップ 2** 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号をダイヤルします。
- ステップ 3** (必要に応じて) 携帯電話番号および PIN を入力します。
- ステップ 4** 会社の IP Phone に発信するために 1 を押します。
- ステップ 5** 自分以外のデスクトップ電話番号をダイヤルします。
-

ファスト ダイヤル コール の発信

この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

-
- ステップ 1** ファストダイヤル回線ボタンを押します。
- ステップ 2** インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリを探し、選択します。
指定した番号がダイヤルされます。
-

PAB を使用したコールの発信

この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービスURLを回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

-
- ステップ 1** PAB 回線ボタンを押します。
- ステップ 2** 連絡先にアクセスし、番号を選択します。
指定した番号がダイヤルされます。
-

コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

| 目的 | 操作 | 詳細の参照先 |
|------------------------------|---|--|
| ヘッドセットで応答する | <p>● (●) が点灯していない場合、押します。または、● (●) が点灯している場合は、[応答] または ● (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。</p> <p>ワイヤレスヘッドセットを使用している場合は、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。</p> | <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ、(63 ページ)</p> |
| スピーカフォンで応答する | <p>●、[応答]、または ● (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。</p> | <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ、(63 ページ)</p> |
| 接続されているコールから新規コールに切り替えて応答する | <p>[応答] を押すか、別の回線で呼出音が鳴っている場合は、● (点滅) を押します。</p> | <p>保留と再開、(28 ページ)</p> |
| コール待機を使用して応答する | <p>[応答] を押します。</p> | <p>保留と再開、(28 ページ)</p> |
| ボイスメッセージシステムにコールを送信する | <p>[即転送] を押します。</p> | <p>ボイスメッセージシステムへのコールの転送、(32 ページ)</p> |
| 自動接続コール | <p>自動応答機能を使用します。</p> | <p>ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答、(65 ページ)</p> |
| 別の電話機でパークされたコールを取得する | <p>コールパーク、ダイレクトコールパーク、または処理されたダイレクトコールパークを使用します。</p> | <p>コールパーク、(47 ページ)</p> |
| 電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する | <p>コールピックアップを使用します。</p> | <p>コールピックアップ、(45 ページ)</p> |



| 目的 | 操作 | 詳細の参照先 |
|-----------------------------|--|--|
| プライオリティコールに応答する | 現在のコールを切断し、[応答]を押します。 | プライオリティコール 、(55 ページ) |
| 携帯電話またはその他のリモート送信先でコールに応答する | モバイルコネクトを設定して電話に応答します。 モバイルコネクトを有効にして携帯電話でコールに応答し、最高4台のIP電話機またはソフトフォンを共有回線として設定した場合、追加の電話は点滅を停止します。 | 単一電話番号を使用したビジネスコール 、(58 ページ) |

ヒント





- コールの発信者と受信者にビーブ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コールセンターまたは同様の環境で勤務している場合は、事前に録音した独自のグリーティングを作成、更新、および削除できます。このグリーティングは、電話機に対してエージェントグリーティングが設定されている場合に自動的に再生されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コール観察ユーザは、コールが監察されているときは着信コールに応答できません。


コールの切断

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。

| 目的 | 操作 |
|-----------------------|--|
| ハンドセットを使用しているときに切断する | ハンドセットを受け台に戻します。または[終了]を押します。 |
| ヘッドセットを使用しているときに切断する |  (C) を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブのままにするには、[終了]を押します。 |
| スピーカフォンを使用しているときに切断する |  または [終了] を押します。 |



保留と再開

コールを保留および再開できます。コールを保留にすると、コール情報領域の右に保留アイコン  が表示され、対応する回線ボタンが緑色  に点滅します。共有回線でコールを保留にすると、回線ボタンが緑色に点滅し、電話にローカル保留アイコンが表示されます。別の電話がコールを保留にすると、回線ボタンは赤色  に点滅し、電話にリモート回線の保留アイコン  が表示されます。

別のユーザが共有回線を保留にすると、関連付けられている回線ボタンに  (点滅) が表示されます。ユーザまたは回線を共有する任意のユーザが、このコールを再開できます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。


- 一定の間隔で呼出音 (点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる) を 1 回鳴らして警告する。
- 電話スクリーン下部のステータスバーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する。
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する。
- 回線ボタン  が表示される (回線状態によっては点滅)。

ヒント

- 保留機能をオンにすると通常、音楽 ([保留音] が設定されている場合) またはビープ音が生成されます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は [保留] を使用できません。

コールの保留

手順

- ステップ1 該当するコールが強調表示されていることを確認します。
- ステップ2  を押します。



現在の回線のコールの保留の削除

手順

- ステップ1 点滅している保留中のコールの場合、、、または  のいずれかを押します。
- ステップ2 保留中のコールが複数ある場合、該当するコールを強調表示して、[再開]または  を押します。

複数のコール

複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。

| 目的 | 操作 |
|----------------------------|---|
| 別の回線の保留コールに切り替える | 切り替える回線の  (点滅) を押します。 |
| 接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する |  (点滅) を押します。アクティブなコールは保留状態になり、選択したコールが復帰します。 |

進行中のコールの移動

次の手順では、進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話またはその他のリモート接続先の間で切り替える方法について詳しく説明します。

進行中のコールを携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機に切り替え（セッションハンドオフ）

手順

-
- ステップ1 携帯電話でセッションハンドオフ機能のアクセスコード（*74 など）を入力します。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
 - ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ3 10 秒以内にデスクの電話機の [応答] ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。システム管理者は、デスクの電話機のコールに応答するまでの最大秒数を設定します。同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。
-

携帯電話からデスクの電話機への進行中のコールの切り替え

手順

-
- ステップ1 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ2 デスクトップの電話機で 4 秒以内に [応答] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。
-

携帯電話からの進行中のコールを、同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスへ切り替える（セッションハンドオフ）

手順



-
- ステップ1 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
 - ステップ2 Cisco Unified デバイスのいずれかで 10 秒以内に [応答] を押し、その電話機で通話を開始します。同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。コールを再開するまでの秒数は、システム管理者が行う設定によって決まります。
-

ミュート

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

コールのミュートまたはミュート解除




手順

-
- ステップ1** コールをミュートするには、を押します。
- ステップ2** コールのミュートを解除するには、を押します。
-

コール転送



接続コールは転送によってリダイレクトされます。ターゲットはコールを転送する先の番号です。コールを転送すると、新しい回線を使用して転送が開始されます。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、またはを押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[再開]を押して、転送前にコールの保留を解除してください。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は転送を使用できません。
- ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトするには、[即転送]を押します。詳細については、[ボイスメッセージシステムへのコールの転送](#)、(32 ページ)を参照してください。



転送先の相手と会話しないでコールを転送

手順

-
- ステップ1 アクティブなコールで、を押します。
 - ステップ2 転送先の番号を入力します。
 - ステップ3 をもう一度押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。
 - ステップ4 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、通話を切ると転送が完了します。
-

転送先の相手と会話してからコールの転送（打診転送）

手順

-
- ステップ1 アクティブなコールで、を押します。
 - ステップ2 転送先の番号を入力します。
 - ステップ3 相手が応答するのを待ちます。
 - ステップ4 をもう一度押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。
 - ステップ5 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、通話を切ると転送が完了します。
-

ボイスメッセージシステムへのコールの転送

[即転送]を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイスメッセージシステムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送]を使用して、別の通話相手のボイスメッセージシステムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送]でそのコールを自分のボイスメッセージシステムまたは本来のコール先のボイスメッセージシステムのいずれかにリダイレクトできます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送]を使用するとコールはその電話機ユーザのボイスメッセージシステムにリダイレクトされます。

ヒント

- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[即転送] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイスメッセージシステムにリダイレクトされます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。

アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールのボイスメッセージシステムへの送信

手順

-
- ステップ 1** [即転送] を押します。
リダイレクトオプションを使用できない場合、コールは、ボイスメッセージシステムに転送されます。
- ステップ 2** リダイレクトオプションを使用できる場合、電話機に新しいメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。
-

コール転送


コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（すべてのコール転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。以下のコール転送機能のうち、どの機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや市外局番を入力します。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- すべてのコール転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスでコール転送機能が無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。
- コール転送が有効になったら、次のことを確認します。
 - 常に回線キー 1 にあるプライマリ電話番号の横にコール転送アイコン  が表示されている。
 - ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。

関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(84 ページ\)](#)
- [Web での回線の設定, \(94 ページ\)](#)

電話機からのすべてのコール転送の設定およびキャンセル

手順

-
- ステップ 1** すべてのコールの転送を設定するには、[不在] を押し、転送先の電話番号を入力します。

電話機がすべてのコールを転送していることを示す、視覚的なインジケータが電話機に表示されます。

- ステップ 2** すべてのコールの転送をキャンセルするには、[不在] を押します。
コールが転送されている電話機であることを示す視覚的なインジケータが電話機の表示から削除されます。

コール転送のセットアップまたはキャンセル

プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。

手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
ステップ 2 コール転送の設定にアクセスします。

サイレント

サイレント (DND) は、着信コールの音声および表示によるすべての通知をオフにします。電話機の DND 機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で DND と [コール転送] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

DND と他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- DND はインターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- DND と自動応答の両方を有効にした場合は、インターコム コールだけが自動応答します。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified Phone に切り替えると (セッションハンドオフ)、電話機のサイレント機能は無効になります。DND 機能は、コールが終了すると復帰します。

DND のオンおよびオフの切り替え

手順

-
- ステップ 1** DND をオンにするには、[DND] を押します。
電話機に「サイレント」と表示され、サイレントライト● (点灯) が点灯し、呼出音がオフになります。
- ステップ 2** DND をオフにするには、[DND] を押します。
-

DND 設定のセットアップ

サイレントの設定値がユーザオプションページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューから [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3** 次のオプションを設定できます。
- [サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。
 - [DND オプション]: [コール拒否] (音声および表示によるすべての通知をオフにする) または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。
 - [DND 着信呼警告] (設定された DND オプションに適用される): アラートをビーブ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、「なし」を選択します (システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます)。
-

会議コール

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[参加] ソフトキーを使用します。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー] ソフトキーまたはボタンを使用します。

アドホック会議

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議」に変わります。
- コール観察ユーザは最初の発信者とのみ会議できます。2人目以降の発信者は、会議の他の参加者と会議を行うことができます。
- 会議参加者のリストについては、[会議参加者リスト](#)、(40 ページ) を参照してください。

参加者にコールを発信した会議の開催

手順

-
- ステップ 1** 接続コールで、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します。
 - ステップ 2** 参加者の電話番号を入力します。
 - ステップ 3** コールが接続されるまで待ちます。
 - ステップ 4** [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。
 - ステップ 5** この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
-

新しい参加者の会議への追加

会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。

手順

-
- ステップ 1** 接続コールで、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します。
- ステップ 2** 参加者の電話番号を入力します。
- ステップ 3** コールが接続されるまで待ちます。
- ステップ 4** [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。
- ステップ 5** この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
-

会議への参加


参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

ヒント

- 3 人以上の通話相手を結合して 1 つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するため、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議」に変わります。
- 会議参加者のリストについては、[会議参加者リスト](#)、(40 ページ) を参照してください。


単一電話回線の既存コールの結合

手順

-
- ステップ 1** アクティブなコールで [参加] を押します。[参加] を表示するために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります。
- ステップ 2** 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。次のいずれかになります。
- a) コールが参加状態になります。
 - b) 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話スクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、[選択] を押してから、[参加] を押します。
-

複数の電話回線の既存コールの結合

手順

-
- ステップ1** アクティブなコールで [参加] を押します。 [参加] を表示するために、 [次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります。
- ステップ2** 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。
 (注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、 [参加] を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。
- ステップ3** 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話スクリーンに表示されたら、コールを強調表示し、 [選択] を押して、再び [参加] を押して操作を完了します。
 コールが参加状態になります。
-

ミーティング

ミーティングでは、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

ヒント

- 非セキュアな電話機からセキュアなミーティングの電話番号をコールした場合、電話機には「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[セキュアコール](#)、(53 ページ) を参照してください。
- すべての参加者が電話を切ると、ミーティングは終了します。
- 会議の開催者が切断しても、電話会議は、すべての参加者が電話を切るまで続行されます。

ミーティングの開催

参加者は、開催者が会議を開始するまで、会議に参加できません。

手順

-
- ステップ1** システム管理者からミーティング電話番号を入手します。
- ステップ2** その電話番号を参加者に配布します。
- ステップ3** 会議を開催する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤル トーンを受信し、 [ミーティング] を押します。
- ステップ4** ミーティングの電話番号をダイヤルします。
 会議の参加者は、ミーティング電話会議番号をダイヤルして会議に参加できます。

ミーティング会議への参加

手順

- ステップ1 会議の開催者から配布されたミーティング会議の電話番号をダイヤルします。
- ステップ2 ビジートーンが聞こえる場合は、会議の開催者がまだ会議に参加していません。しばらくしてから、再びコールしてみてください。

会議参加者リスト

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。



- (注) 会議の参加者リスト（[参加者]）には、最大 16 人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者]には 16 人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者]には最新の 16 人の参加者だけ表示されます。

参加者の追加方法については、[新しい参加者の会議への追加](#)、（37 ページ）を参照してください。

参加者リストを使用した会議のコントロール

会議の参加者リスト（[参加者]）には、最大 16 人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者]には 16 人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者]には最新の 16 人の参加者だけ表示されます。

手順

- ステップ1 [参加者] または [会議参加者リスト] を押します。会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。

- ステップ2** 会議参加者の更新済みリストを取得するには、[更新] を押します。
- ステップ3** 会議の開催者を確認するには、リストの末尾にある、名前の横にアスタリスク (*) の付いた参加者を見つけます。
- ステップ4** すべての会議参加者を削除するには、参加者の名前を強調表示し、[削除] を押します。
- ステップ5** 会議に最後に追加された参加者をドロップするには、[ドロップ] を押します。
参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。

電話会議のセキュリティを確認

手順

- ステップ1** 会議セキュリティを確認するには、[参加者] または [会議参加者リスト] を押します。
- ステップ2** 電話会議が安全かどうかを確認するには、電話スクリーンに表示された「会議」の後に または アイコンがあるかどうかを見ます。
- ステップ3** 参加者が安全な電話からコールしていることを確認するには、電話スクリーンに表示された参加者の名前の横に アイコンまたは アイコンがあるかどうかを見ます。

インターコム コール

ミュートをアクティブにしたスピーカフォンモードで、コールに自動応答する通話先の電話機に対して、インターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。ハンドセットまたはヘッドセットのいずれかが使用中の場合、音声はそのいずれかで再生されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコールアクティビティは同時に継続されます。

インターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択できます。

- マイクフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了] ソフトキーを押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。


- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- アクティブなコールがモニタまたは記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できません。
- インターコム コールは保留にできません。



(注) Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用して日常的に同じ電話機にログインする場合は、システム管理者がそのプロファイルにインターコム 情報を含む電話ボタン テンプレート を割り当てていることを確認し、電話機をインターコム回線のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当ててください。


事前定義されたインターコム番号へのインターコム コールの発信

手順

- ステップ 1  (インターコム ターゲット回線) を押します。
- ステップ 2 インターコムのアラート音が聞こえたら、話を始めます。

任意のインターコム番号へのインターコム コールの発信


手順

- ステップ 1  (☒) を押します。
- ステップ 2 インターコムの相手先の番号を入力するか、スピードダイヤル番号を押します。
- ステップ 3 インターコムのアラート音が聞こえたら、話を始めます。

インターコム コールの受信

手順

- インターコムのアラート音が聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。
- 単方向通話でメッセージを聴きます。

-  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話します。
- インターコム コールにフォーカスがある状態で [終了] を押します。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

スピードダイヤル

スピードダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

スピードダイヤル ボタンと短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。ファストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。システム管理者が、スピードダイヤル機能を設定することもできます。


関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(84 ページ\)](#)
- [パーソナルディレクトリ, \(76 ページ\)](#)
- [ビジーランプフィールド機能, \(52 ページ\)](#)

スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機がビジーランプフィールド (BLF) スピードダイヤル機能をサポートする場合は、スピードダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。

手順

-
- ステップ 1** スピードダイヤル ボタンを設定します。
 - ステップ 2** コールを発信するには、 (■) を押します。
-

オンフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信

手順

- ステップ1 短縮ダイヤル コードを設定します。
 - ステップ2 コールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
-

オフフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信

手順

- ステップ1 ハンドセットを取り上げます。
 - ステップ2 [短縮] ソフトキーを押し、キーパッドを使用して短縮ダイヤル コードを入力します。
 - ステップ3 [短縮] ソフトキーをもう一度押します。
-

オフフック短縮ダイヤルを使用した会議の開始

手順

- ステップ1 [会議] ソフトキーを押します。ダイヤル トーンが鳴ります。
 - ステップ2 [短縮] ソフトキーを押し、キーパッドを使用して短縮ダイヤル コードを入力します。
 - ステップ3 [短縮] ソフトキーをもう一度押します。
 - ステップ4 [会議] ソフトキーをもう一度押します。
-

オフフック短縮ダイヤルを使用したコールの転送

手順

-
- ステップ1 [転送] ソフトキーを押します。ダイヤル トーンが鳴ります。
 - ステップ2 [短縮] ソフトキーを押し、キーパッドを使用して短縮ダイヤル コードを入力します。
 - ステップ3 [短縮] ソフトキーをもう一度押します。
 - ステップ4 [転送] ソフトキーをもう一度押します。
-

コール保留でのオフフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 [発信] ソフトキーを押します。
 - ステップ2 [短縮] ソフトキーを押し、キーパッドを使用して短縮ダイヤル コードを入力します。
 - ステップ3 [短縮] ソフトキーをもう一度押します。
-

ファスト ダイヤルを使用したコールの発信


手順

-
- ステップ1 個人アドレス帳エントリを作成し、ファスト ダイヤル コードを割り当てます。
 - ステップ2 コールを発信するには、電話機からファスト ダイヤル サービスにアクセスします。
-

コール ピックアップ

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用できます。

ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- [G ピック] ソフトキーまたは [グループ ピックアップ] ボタンを押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします（回線が使用可能な場合）。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのボタンまたはソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示（あるいはその両方）によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、[ビジーランプフィールド機能](#)、[\(52 ページ\)](#) を参照してください。

コール ピックアップ グループ内の別の内線の呼び出し中コールへの応答

手順

-
- ステップ 1** [ピック] ソフトキーを押します（ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります）。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
 - ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

コール ピックアップ グループ外の別の内線の呼び出し中コールへの応答

手順

-
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーを押します（ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります）。
 - ステップ 2** グループ ピックアップ番号を入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
 - ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

グループまたは関連グループ内の別の内線での呼び出し中コールへの応答

手順

-
- ステップ 1** [他グループ] ソフトキーを押します（ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります）。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-


特定の内線（回線番号）で呼び出し中のコールへの応答

手順

-
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーを押します（ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります）。
- ステップ 2** ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。
電話機が自動ピックアップをサポートする場合、コールに接続します。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

コールパーク

Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（たとえば、同僚のデスクや会議室の電話機）から取得できるように、コールを保存するときにコールをパークできます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- コールパーク：[パーク] ソフトキーを使用してコールを保存します。コールに割り当てられたコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク：コール中に [転送] ソフトキーを押します。コールを保存するには、ダイレクトコールパーク番号をダイヤルし、[転送] をもう一度押します。
- 処理されたダイレクトコールパーク：アイドル状態の回線ステータス インジケータを表示する [処理されたダイレクトコールパーク] ボタンを使用します。ネットワークの他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得するには、点滅している [処理されたダイレクトコールパーク]  ボタンを押します。

ヒント

- パークされたコールを取得するまで制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、電話機の使用可能な回線ボタンに [ダイレクト コール パーク] ボタンを割り当てることができます。
- [ダイレクト コール パーク] ボタンが電話機にない場合でも、ダイレクト コール パーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクト コール パーク番号のステータスは表示されません。


コールパークを使用したアクティブ コールの保存および受け取り

手順

-
- ステップ 1** コール中に [パーク] を押します。[パーク] を表示するために、[次へ] ソフトキーを押す必要がある場合があります。
 - ステップ 2** 電話スクリーンに表示されたコールパーク番号を記録します。
 - ステップ 3** 電話を切ります。
 - ステップ 4** パーク中のコールに応答するには、ネットワークの任意の Cisco Unified IP Phone からコールパーク番号を入力します。
-

アクティブなコールのダイレクト コールパーク番号への転送および保存



手順

-
- ステップ 1** コール中に、 を押します。
 - ステップ 2** ダイレクト コールパーク番号をダイヤルします。
 - ステップ 3** もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。
-

パークされたコールのダイレクト コールパーク番号からの取得



手順

-
- ステップ 1** ネットワークの任意の Cisco Unified IP Phone から、パーク取得プレフィックスを入力します。
 - ステップ 2** 次のいずれかの操作を実行します。

- ダイレクトコールパーク番号をダイヤルします。
-  (点滅) () を押して、コールに接続します。

処理されたダイレクトコールパーク番号でのアクティブコールのダイレクト、保存および取得

手順


- ステップ1** コール中に、アイドル状態の回線ステータスインジケータ  が表示された [処理されたダイレクトコールパーク] ボタンを押します。
- ステップ2** コールを取得するには、点滅している [処理されたダイレクトコールパーク]  ボタンを押します。
管理者が復帰電話番号を設定していない場合、パークされたコールは、そのコールをパーク中の電話機に復帰します。

ハントグループ

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハントグループのメンバーになっている可能性があります。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハントグループからログアウトすることによって、ハントグループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

ヒント

- ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。
- ログインすると、[ハントグループ] ボタン  が点灯します。

ハントグループのログインおよびログアウト

手順



-
- ステップ1** [ハント]を押します。ハントグループにログインしました。
- ステップ2** [ハント]を押します。電話スクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
-

共有回線

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信  および受信できます。

コール情報と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、[プライバシー](#)、[\(50 ページ\)](#) を参照してください）。





異なるモデルの Cisco Unified IP Phone を使用している同僚と回線を共有している場合、共有回線のアクティブなコールに自分自身を追加（または割り込み）できることがあります。通常、この機能は電話機でサポートされていません。必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。必要ない場合は、同僚がコールに参加しないように、プライバシーを有効にしてください。

プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。プライバシーを有効にすると、回線を共有する他者がコールを表示したり、コールに割り込んだりできなくなります。

共有回線情報

共有回線のコールの情報を表示したり、同僚が保留にした共有回線のコールを取得したり、他者がコールに割り込むことを防いだりできます。







| 目的 | 操作 |
|------------------------|---|
| 共有回線が使用中であることを確認する | 赤い回線ボタン  (点灯) の横に、リモートで使用中のアイコン  があるかどうかを確認します。 |
| 共有回線における現在のコールの詳細を表示する | リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  (点灯) を押します。プライベート コール以外はすべて電話スクリーンのコールアクティビティ領域に表示されます。 |
| 共有回線で保留コールを取得する | リモートで使用中の回線の赤い回線ボタン  (点滅) を押します。 |

ヒント

- 回線を共有している電話でプライバシーが有効になっている場合は、通常どおり、共有回線を使用して通話を発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止または許可する

手順

-
- ステップ 1** 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止するには、
- a) [非通知]  (●) を押します。
 - b) プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある機能有効アイコン  を確認します。
- ステップ 2** 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可するには、
- a) [非通知]  (●) を押します。
 - b) プライバシー機能がオフであることを確認するには、点灯していない回線ボタン  の横にある機能無効アイコン  を確認します。
-

ビジー ランプ フィールド機能

ビジー ランプ フィールド (BLF) 機能を使用すると、電話機のスピードダイヤルボタン、通話履歴、またはディレクトリリストに関連付けられた電話回線の状態を確認できます。BLF ピックアップを使用すると、モニタ対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。どのBLF機能を電話機に設定するかは、システム管理者が決定します。

| 目的 | 操作 |
|---------------------------------|--|
| 通話履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する | 回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ●回線は使用中です。 ●回線はアイドル状態です。 |
| スピードダイヤル回線の状態を確認する | 回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ●回線は使用中です。 ●回線はアイドル状態です。 ●BLFで監視された回線が呼び出し中です (●●●BLF ピックアップ)。 |

ヒント

- モニタ対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオインジケータを再生して通知できる場合があります (BLF ピックアップのみ)。
- BLF ピックアップは、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します (モニタ対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合)。
- モニタ対象の回線が呼び出し中でないときに [BLF ピックアップ] ボタンを押すと、電話機はその回線番号にスピードダイヤルします。

BLF ピックアップを使用した呼び出し中のコールへの応答

手順

-
- ステップ 1** 回線の呼び出し中に [BLF ピックアップ] ボタン ● を押します。電話機で使用可能な次の回線にコールがリダイレクトされます
- ステップ 2** 回線を指定する場合は、先に回線ボタンを押してから、[BLF] ボタンを押します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。

ステップ 3 電話機でコールが鳴ったら、コールに応答します。

セキュア コール

システム管理者による電話システムの設定方法によって異なりますが、電話機ではセキュア コールの発信と受信がサポートされます。セキュア コールを発信できるかどうかは、管理者にお問い合わせください。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- 認証済みコール：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- 暗号化済みコール：電話機は、Cisco Unified Communications Manager ネットワーク内で暗号化済みの音声（会話）を受信および転送します。暗号化済みコールは認証済みのコールです。
- 保護されたコール：電話機は、Cisco Unified Communications Manager サーバ上の安全な（暗号化済みおよび信頼済みの）デバイスであり、Cisco Unified Communications Manager Administration で「保護されたデバイス」として設定されています。

Cisco Unified Communications Manager Administration で [セキュア通知トーンの再生] が [はい] になっている場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュアまたは非セキュア通知トーンが再生されます。

- エンドツーエンドのセキュアメディアがセキュアリアルタイム転送プロトコル (SRTP) によって確立され、コールステータスがセキュアである場合、セキュア通知トーン（短い間隔で 3 回の長いビープ音）が再生されます。
- エンドツーエンドの非セキュアメディアがリアルタイムプロトコル (RTP) によって確立され、コールステータスが非セキュアである場合、非セキュア通知トーン（短い間隔で 6 回の短いビープ音）が再生されます。

[セキュア通知トーンの再生] オプションが [いいえ] になっている場合、トーンは再生されません。

- 保護されていないコール：電話機は、Cisco Unified Communications Manager で「保護されたデバイス」のステータスを持っていません。セキュアまたは非セキュア通知トーンは再生されません。
- 非セキュア コール：電話機は、Cisco Unified Communications Manager サーバ上で保護されておらず、コールステータスは非セキュアです。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

次の表に、コール情報の確認方法を示します。

| 目的 | 操作 |
|-------------------------------|--|
| コールまたは会議のセキュリティレベルを確認する | コールアクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティアイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 認証済みコールまたは会議 <input type="checkbox"/> 暗号化済みコールまたは会議 <input type="checkbox"/> 非セキュア コールまたは会議 |
| 電話接続（コールステータス）がセキュアであることを確認する | コールの開始時にセキュア通知トーンの音を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • セキュア コール ステータス：電話機が保護されており、[セキュア通知トーンの再生]が有効で、コールステータスがセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュア通知トーン（短い間隔で3回の長いビープ音）が再生されます。また、コールが安全であることを示すロックアイコンが表示されます。 • 非セキュア コール ステータス：電話機が保護されており、[セキュア通知トーンの再生]が有効で、コールステータスが非セキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時に非セキュア通知トーン（短い間隔で6回の短いビープ音）が再生されます。また、コールが安全でないことを示す再生矢印アイコンが表示されます。 <p>詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> |



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



(注) コールに関するデバイスは、信頼できるデバイスまたは信頼できないデバイスのいずれかです。コールが安全な場合でも、信頼できないデバイスから発着信したコールのとき、[Cisco Unified IP Phone] 画面に鍵アイコンまたはシールドアイコンは表示されません。

不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に迷惑呼 ID (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

システム管理者への不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信の通知

手順

[迷惑呼] を押します。

電話機でトーンが再生され、「迷惑呼 ID の処理完了」というメッセージが表示されます。管理者は、適切な処置を取るためのサポート情報とともにコールに関する通知を受信します。

プライオリティ コール

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。このような特別なコールの処理が必要な場合は、システム管理者が電話機に Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) を追加することができます。

次の用語に留意してください。

- **Precedence** : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- **Preemption** : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

| 目的または状態 | 操作 |
|-------------------------------------|--|
| 発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する | 対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。 |
| プライオリティ (Precedence) コールをかける | 電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。 |
| 特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る | プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。 |
| コールのプライオリティレベルを表示する | 電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ プライオリティ コール ■ 中程度のプライオリティの (即時) コール ■ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ■ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。 |

| | |
|--------------------------|---|
| <p>コール中に連続したトーンが聞こえる</p> | <p>自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。</p> |
|--------------------------|---|

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) を使用すると、サイレント (DND) 機能が無効になります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - ピックアップを使用してコールに応答する

Cisco エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定できます。EM にログインすると、電話機は電話回線、機能、設定されたサービス、Web ベースの設定など、ユーザ プロファイルを採用します。システム管理者は、EM を設定する必要があります。


エクステンション モビリティの PIN 変更機能では、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できません。

ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。


EM へのログイン

手順

-
- ステップ 1  (☎) > [サービス] > [EM サービス] (名前は異なる場合があります) を選択します。
 - ステップ 2 ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。
 - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
-


EM からのログアウト

手順

-
- ステップ 1  (☎) > [サービス] > [EM サービス] (名前は異なる場合があります) を選択します。
 - ステップ 2 ログアウトの指示があったら、[はい] を押します。
-


クレデンシャルの変更サービスを使用した PIN の変更

手順

-
- ステップ 1  (☎) > [サービス] > [クレデンシャルの変更] を選択します。
 - ステップ 2 [ユーザ ID] フィールドにユーザ ID を入力します。
 - ステップ 3 [現在の PIN] フィールドに PIN を入力します。
 - ステップ 4 [新しい PIN] フィールドに新しい PIN を入力します。
 - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。
 - ステップ 6 [変更] を押します。
PIN の変更が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。
 - ステップ 7 [終了] を押します。
-

[PIN の変更] ソフトキーを使用した PIN の変更

手順

-
- ステップ 1  > [サービス] > [EM サービス] (名前は異なる場合があります) を選択します。
 - ステップ 2 [PIN の変更] を押します。
 - ステップ 3 [現在の PIN] フィールドに PIN を入力します。
 - ステップ 4 [新しい PIN] フィールドに新しい PIN を入力します。
 - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN をもう一度入力します。
 - ステップ 6 [変更] を押します。
PIN の変更が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。
 - ステップ 7 [終了] を押します。
-

単一電話番号を使用したビジネス コール

Intelligent Session Control は、携帯電話番号をビジネス IP 電話番号に関連付けます。リモート接続先（携帯電話）へのコールを着信すると、デスクの電話機の呼出音は鳴りません。リモート接続先のみが鳴ります。携帯電話で着信コールに応答すると、デスクの電話機には「リモートで使用中」メッセージが表示されます。

通話中には、任意の携帯電話機能も使用できます。たとえば、携帯番号へのコールを着信した場合、デスクの電話機からコールに応答したり、コールを携帯電話からデスクの電話機にハンドオフしたりできます。

次の表示、コールの転送方法について説明します。

| 目的 | 操作 |
|------------------------------|--|
| 着信のモバイルアクティブコールをデスクの電話機に転送する | 携帯電話のさまざまな機能を使用します (*74 など)。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。 |

モバイル コネクトおよびモバイル ボイス アクセス

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておくこと、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

- デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。

- デスクトップの電話機でコールに应答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに应答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

| 目的 | 操作 |
|-------------------------------|---|
| モバイルコネクトを設定する | ユーザ オプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセスリストを作成します。 モバイルコネクト用の電話機およびアクセスリストの設定, (96 ページ) を参照してください。 |
| 携帯電話でコールに应答する | コールへの应答, (25 ページ) を参照してください。 |
| 進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える | 進行中のコールの移動, (29 ページ) を参照してください。 |
| 携帯電話からコールを発信する | 追加コール オプション, (21 ページ) を参照してください。 |

ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイルボイスアクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
 - 発信している番号がリモート接続先の番号の 1 つでない場合。
 - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
 - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイルボイスアクセス コールから切断され、一定の時間アクセスを拒否されます。不明な点については、システム管理者に問い合わせてください。

関連トピック

[進行中のコールの移動, \(29 ページ\)](#)

携帯電話で応答したコールの保留

手順

-
- ステップ1** [エンタープライズ保留] を押します（名前は異なる場合があります）。
通話相手は保留状態になります。
- ステップ2** 携帯電話で、[再開]（名前は異なる場合があります）ソフトキーを押します。
-

モバイル ボイス アクセスへの接続

手順

-
- ステップ1** 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号をダイヤルします。
- ステップ2** 発信番号（要求された場合）と PIN を入力します。
-

携帯電話からのモバイル コネクトの有効化

手順

-
- ステップ1** 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号をダイヤルします。
- ステップ2** （必要に応じて）携帯電話番号および PIN を入力します。
- ステップ3** 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。
- ステップ4** モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または1台のみです。
- すべての電話機の場合：2 を入力します。
 - 1台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けてポンド記号（#）を入力します。
-

携帯電話からのモバイルコネクットの無効化

手順

-
- ステップ1** 割り当てられたモバイルボイスアクセス番号をダイヤルします。
- ステップ2** (必要に応じて) 携帯電話番号およびPINを入力します。
- ステップ3** 3を押してモバイルコネクットを無効にします。
- ステップ4** モバイルコネクット無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または1台のみです。
- すべての電話機の場合: 2を入力します。
 - 1台の電話機の場合: 1を入力します。次にリモート接続先から削除する番号を入力し、続けてポンド記号 (#) を入力します。
-

すべてのリモート接続先へのモバイルコネクットアクセスをデスクの電話機でオンまたはオフにする

手順

-
- ステップ1** [モビリティ]を押して、リモート接続先の現在のステータス(有効または無効)を表示します。
- ステップ2** [選択]を押して、ステータスを変更します。
- ステップ3** [終了]を押します。
-



第 4 章

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカ



電話機と一緒に使用できるオーディオデバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオデバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオデバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ハンドセット, 63 ページ](#)
- [ヘッドセット, 64 ページ](#)
- [スピーカフォン, 65 ページ](#)
- [ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答, 65 ページ](#)

ハンドセット


次の表で、ハンドセットの使用方法について説明します。


| 目的 | 操作 |
|------------------------------|--|
| ハンドセットを使用する | オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。 |
| コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える |  または  を押し、ハンドセットを置きます。 |

| 目的 | 操作 |
|----------------|--|
| コールの音量レベルを調節する | <p>コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p> |

ヘッドセット


電話機では、有線ヘッドセット用に4線または6線のヘッドセットジャックがサポートされています。ヘッドセットの購入については、[ヘッドセットのサポート](#)、(16 ページ) を参照してください。

ヘッドセットは、音量ボタンや  など、電話機のすべての制御で使用できます。

| 目的 | 操作 |
|-----------------------|--|
| ヘッドセットモードのオン/オフを切り替える | <p> (M) を押して、ヘッドセットモードのオンとオフを切り替えます (通常、ヘッドセットはボタン 23 に割り当てられます)。</p> |
| ハンドセットに切り替える | <p>ハンドセットを取り上げます (ボタンは押しません)。</p> |
| コールの音量レベルを調節する | <p>コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p> |

自動応答を使用する場合は、[ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答](#)、(65 ページ) を参照してください。


ワイドバンドヘッドセット


ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります (この設定はデフォルトでは無効になっています)。設定にアクセスするには、 (S) > [設定] > [ユーザプリファレンス] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。

ワイドバンドヘッドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を変更できません。

システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられないことがあります。ヘッドセットの詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

スピーカフォン

ハンドセットが受け台にあり、 (ヘッドセット) が点灯していない場合は、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォンモードが自動的に切り替わります。

| 目的 | 操作 |
|------------------------|--|
| スピーカフォンモードのオン/オフを切り替える |  を押します。 |
| ハンドセットに切り替える | ハンドセットを取り上げます (ボタンは押しません)。 |
| コールの音量レベルを調節する | コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに音量ボタンを押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。 |

ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答

自動応答機能が有効な場合、呼出音が数回鳴った後、電話機が自動的に応答します。自動応答機能でスピーカフォンとヘッドセットのどちらを使用するかは、システム管理者が設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

| 目的 | 操作 |
|-------------------|---|
| ヘッドセット | <p>コールがない間も、ヘッドセットモードをアクティブにしたまま (● (●) が点灯したまま) にします。</p> <p>ヘッドセットモードを有効にしておくには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [終了] を押して切断します。 • [発信] または [ダイヤル] を押して、新規コールを発信します。 <p>ヘッドセットモードで自動応答を使用するように電話機が設定されている場合、● (●) が点灯している場合にのみ、コールに自動的に応答します。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るため、手動でそのコールに応答する必要があります。</p> |
| スピーカフォンで自動応答を使用する | <p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを非アクティブのままにします (● (●) が消灯)。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るため、手動でそのコールに応答する必要があります。</p> |

ヒント

自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。



第 5 章

電話機のカスタマイズ

呼出音、音量、およびその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

この章は、次の内容で構成されています。

- [呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ, 67 ページ](#)
- [電話スクリーンのカスタマイズ, 68 ページ](#)

呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ


電話機で着信コールと新しいボイスメールメッセージがどのように示されるかをカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調節できます。

関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(84 ページ\)](#)
- [Web での回線の設定, \(94 ページ\)](#)

呼出音の変更

手順

- ステップ 1  (☎) > [設定] > [ユーザ プリファレンス] > [呼出音] を選択します。
 - ステップ 2 電話回線またはデフォルト呼出音設定を選択します。
 - ステップ 3 呼出音を選択して、試聴します。
 - ステップ 4 [選択] および [保存] を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル] を押します。
-

電話機の音量レベルの調整

システム管理者に呼出音量の最小設定を問い合わせます。

手順

ハンドセットが受け台にある状態で、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

ハンドセットのボイス メッセージ ライトの動作の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ2 [メッセージ受信ランプ ポリシーの変更] を選択します。
 - ステップ3 メッセージインジケータの設定にアクセスします。通常、デフォルトのシステムポリシーでは、ハンドセットのライトストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。
-

オーディオ ボイス メッセージ インジケータの変更

手順


-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ2 メッセージ インジケータの設定にアクセスします。
-

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

電話スクリーンの明るさの変更

手順

-
- ステップ1**  (☎) > [設定] > [ユーザプリファレンス] > [明るさ] を選択します。
- ステップ2** 調整するには、[ボリューム] を押します。
- ステップ3** [保存] または [キャンセル] を押します。
- (注) 電話機の明るさ設定を変更した後、少なくとも1分は電源から切断されないようにします。切断されると、明るさ設定が保存されません。
-

電話スクリーン言語の変更

手順

-
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2** ユーザ設定にアクセスします。
- ステップ3** 言語を選択します。
-


回線テキスト ラベルの変更

手順

-
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2** 回線テキスト ラベルの設定にアクセスします。
-

コントラストの調整

手順

-
- ステップ1  (☎) > [設定] > [ユーザプリファレンス] > [コントラスト] を選択します。
 - ステップ2 調整するには、音量ボタンを押します。
 - ステップ3 [保存] または [キャンセル] を押します。
-


バックライトの設定

このオプション機能が使用できるかどうかは、システム管理者にお問い合わせください。この機能により、バックライトをあらかじめ決めておいた時間（システム管理者が設定）にオフにできます。



第 6 章

通話履歴とディレクトリ

この項では、通話履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。どちらの機能にアクセスする場合もディレクトリ ボタン  [ディレクトリ] を使用します。

- [通話履歴, 71 ページ](#)
- [ディレクトリ機能, 74 ページ](#)

通話履歴

電話機には通話履歴が保持されます。通話履歴には、不在履歴、発信履歴、および着信履歴のレコードが含まれます。

電話の特定のラインアピランスについて不在履歴が不在履歴ディレクトリに記録されるかどうかは、電話機の管理者が決めます。

ヒント

- (SCCP 電話機/SIP 電話機) ご使用の電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- (SCCP 電話機のみ) マルチパーティ コール (たとえば、転送されてきたコール) の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細] を押しします。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに2つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。
 - 先頭に記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールの中で、直近に完了したコールの名前と番号です。
 - 2番めに記録されたエントリは、電話機が受信した複数のコールのうち最初に完了したコールの名前と番号です。

通話履歴の表示

手順

● (☎) > [ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴] または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件のレコードを保存できます。

単一のコールレコード詳細の表示

手順

-
- ステップ 1 ● (☎) > [ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴] または [着信履歴] を選択します。
- ステップ 2 コールレコードを強調表示します。
- ステップ 3 [詳細] を押します。着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報（発信履歴と着信履歴の場合のみ）が表示されます。
-

すべての履歴からすべてのコールレコードの消去

手順

-
- ステップ 1 ● (☎) > [ディレクトリ] を選択します。
- ステップ 2 [クリア] を押します。
-


1つの履歴からすべてのコールレコードの消去

手順

-
- ステップ 1 ● (☎) > [ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴] または [着信履歴] を選択します。
- ステップ 2 コールレコードを強調表示します。
- ステップ 3 [クリア] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します。
-


1つのコールレコードの消去

手順

-
- ステップ1  (☎) > [ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴] または [着信履歴] を選択します。
 - ステップ2 コールレコードを強調表示します。
 - ステップ3 [削除] を押します。
-


通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）




手順

-
- ステップ1  (☎) > [ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴] または [着信履歴] を選択します。
 - ステップ2 コールレコードを強調表示します。
[詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。
 - ステップ3 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。
 - ステップ4 番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します。
 - ステップ5 コールを発信するには、オフフックにします。
-

通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続した状態）



手順

-
- ステップ1  (☎) > [ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴] または [着信履歴] を選択します。
 - ステップ2 コールレコードを強調表示します。
(注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。

- ステップ 3** 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集] を押します。次に、[<<] または [>>] を押し
ます。
- ステップ 4** 番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキー
を押して、[削除] を表示します。
- ステップ 5** [ダイヤル] を押します。
- ステップ 6** 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。
- [保留]: 最初のコールを保留にし、2 番めのコールをダイヤルします。
 - [転送]: 最初の通話相手を 2 番めの通話相手に転送し、自分のコールを終了します。操作を完
了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します。
 - [会議]: 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します。操作を完了するに
は、ダイヤルした後で  () をもう一度押します。
 - [終了]: 最初のコールを切断し、2 番めのコールをダイヤルします。

不在履歴および着信履歴からの国際コールのリダイヤル

手順

- ステップ 1**  () > [ディレクトリ] > [不在履歴] または [着信履歴] を選択します。
- ステップ 2** リダイヤルするコールレコードを強調表示します。
[詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリ
です。
- ステップ 3** [編集] を押します。
- ステップ 4** *キーを 1 秒以上押したままにして、+記号を電話番号の最初の桁として追加します。
+記号は番号の最初の桁としてのみ追加できます。
- ステップ 5** [ダイヤル] を押します。

ディレクトリ機能

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナルディレクトリ機能をサポート
できます。

- 社内ディレクトリ: ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリ
の設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナルディレクトリ: 使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified
Communications Manager ユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人

用連絡先および関連付けられたスピードダイヤルコードです。パーソナルディレクトリは、個人アドレス帳（PAB）とファストダイヤルで構成されます。

- PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
- ファストダイヤルは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てるために使用します。

社内ディレクトリ


社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

ヒント

キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。




社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

手順

-
- ステップ 1**  (☎) > [ディレクトリ] > [社内ディレクトリ]（名前は異なることがあります）を選択します。
 - ステップ 2** キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索]を押します。
 - ステップ 3** ダイヤルするには、リスト項目を押すか、リスト項目までスクロールしてオフフックにします。
-

社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続している状態）

手順

-
- ステップ 1**  (☎) > [ディレクトリ] > [社内ディレクトリ]（名前は異なることがあります）を選択します。
 - ステップ 2** キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索]を押します。
 - ステップ 3** リストをスクロールして、[ダイヤル]を押します。
 - ステップ 4** 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。
 - [保留]：最初のコールを保留にし、2番めのコールをダイヤルします。
 - [転送]：最初の通話相手を2番めの通話相手に転送し、自分のコールを終了します。操作を完了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します。
 - [会議]：自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します。操作を完了するには、ダイヤルした後で  をもう一度押します。

d) [終了]: 最初のコールを切断し、2 番めのコールをダイヤルします。

パーソナルディレクトリ


パーソナルディレクトリ フィーチャセットには、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。 [Web でのパーソナルディレクトリ](#)、(85 ページ) も参照してください。

ヒント

- システム管理者は、ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN を指定できます。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- ご使用の電話機に国際コールのログインを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

パーソナルディレクトリへのアクセス (PAB およびファストダイヤルコードの検索のため)

手順

- ステップ 1**  > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] (名前は異なることがあります) を選択します。
- ステップ 2** Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
-

PAB エントリの検索

手順

-
- ステップ 1** パーソナルディレクトリにアクセスします。
 - ステップ 2** [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ 3** 検索条件を入力し、[送信] を押します。
 - ステップ 4** [前へ] および [次へ] を使用して、リスト内を移動します。
 - ステップ 5** 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
-

PAB エントリからのダイヤル

手順

-
- ステップ 1** リスト項目を検索します。
 - ステップ 2** そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
 - ステップ 3** [ダイヤル] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[ダイヤル] を表示します。
-

PAB エントリの削除

手順

-
- ステップ 1** リスト項目を検索します。
 - ステップ 2** 目的のリスト項目を強調表示し、[削除] を押します。
 - ステップ 3** [編集] を押します。
 - ステップ 4** [削除] を押します。
 - ステップ 5** [OK] を選択して、削除することを確認します。
-

PAB エントリの編集

手順

- ステップ1 リスト項目を検索します。
 - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
 - ステップ3 [編集] を押して名前または電子メールアドレスを変更します。
 - ステップ4 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。
 - ステップ5 [更新] を押します。
-


新規 PAB エントリの追加

手順

- ステップ1 パーソナルディレクトリにアクセスします。
 - ステップ2 [個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ3 [送信] を押して、[検索] ページにアクセスします。最初に検索情報を入力する必要はありません。
 - ステップ4 [新規] を押します。
 - ステップ5 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。
 - ステップ6 [電話] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード（9 や 1 など）を必ず含めます。
 - ステップ7 [送信] を選択して、エントリをデータベースに追加します。
-


PAB エントリを使用しない新しいファストダイヤルコードの追加

手順

- ステップ1  を押し、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ]>[個人ファストダイヤル] を選択します。
 - ステップ2 割り当てられていないファストダイヤルコードを強調表示し、[割り当て] を押します。
 - ステップ3 電話番号を入力します。
 - ステップ4 [更新] を押します。
-

ファストダイヤルコードの検索

手順

- ステップ1  (☎) > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] > [パーソナルファストダイヤル] を選択します。
- ステップ2 [次へ] を選択して、リスト内を移動します。

ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

手順

- ステップ1 ファストダイヤルコードを検索します。
- ステップ2 [ダイヤル] を押します。


ファストダイヤルコードの削除

手順

- ステップ1 ファストダイヤルコードを検索します。
- ステップ2 必要なリスト項目を強調表示し、[削除] を押します。
- ステップ3 もう一度 [削除] を押します。

パーソナルディレクトリからのログアウト



手順

- ステップ1  (☎) > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] (名前は異なることがあります) を選択します。
- ステップ2 [ログアウト] を選択します。
- ステップ3 [OK] を押します。



第 7 章

ボイス メッセージ

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  () > [メッセージ] を使用します。


ご使用の電話機システムが使用するボイスメッセージサービスは、会社によって決定されます。ボイス メッセージ サービスの詳細については、付属のマニュアルを参照してください。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ボイス メッセージの識別, 81 ページ](#)
- [ボイス メッセージ サービスのセットアップ, 82 ページ](#)
- [ボイス メッセージの聞き取りまたはボイス メッセージ システムへのアクセス, 82 ページ](#)

ボイス メッセージの識別

ボイス メッセージがある場合、視覚的に次のように通知されます。

- ハンドセットの赤いランプが点灯する。このインジケータは異なる場合があります。詳細については、[呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ, \(67ページ\)](#) を参照してください。
- メッセージ受信アイコン  とテキスト メッセージが電話スクリーンに表示される。

赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にメッセージがある場合にのみ表示されます。他の回線でボイスメッセージを受信しても、プライマリ回線にメッセージがなければ表示されません。

ボイス メッセージがある場合、音声で次のように通知されます。


- コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセットまたはスピーカフォンからスタッタ音が聞こえます。

断続トーンは回線ごとに異なります。メッセージを受信している回線を使用している場合のみ、このトーンが聞こえます。

コールを直接ボイスメールに送信するには、[即転送]を押します。詳細については、[ボイスメッセージシステムへのコールの転送](#)、(32 ページ)を参照してください。

ボイスメッセージサービスのセットアップ


手順

-
- ステップ 1**  (M) > [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。
- ステップ 2** 電話スクリーンにメニューが表示されたら、該当するメニュー項目を選択します。
-

ボイスメッセージの聞き取りまたはボイスメッセージシステムへのアクセス

ボイスメッセージサービスに接続すると、ボイスメッセージがある回線がデフォルトで選択されます。複数の回線にボイスメールがある場合、最初の使用できる回線が選択されます。プライマリ回線で常にボイスメッセージサービスに接続するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。

手順

-
- ステップ 1**  を押します。
このボタンを押すと、メッセージサービスに自動ダイヤルされるか、またはタッチスクリーンにメニューが表示されます。この動作は、ご使用のボイスメッセージサービスによって異なります。
- ステップ 2** メニューが表示されたら、メニュー項目を選択します。
-



第 8 章

ユーザ オプション Web ページ

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにログインできます。このページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤル ボタンを設定できます。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ユーザ オプション Web ページへのログイン、ログアウト, 83 ページ](#)
- [ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択, 84 ページ](#)
- [ユーザ オプション Web ページの操作, 84 ページ](#)
- [Web 上での機能およびサービスの設定, 85 ページ](#)

ユーザ オプション Web ページへのログイン、ログアウト

スピードダイヤル、個人アドレス帳などのユーザオプションを使用するには、ログインする必要があります。ユーザオプション Web ページの使用を終えたら、ログアウトする必要があります。

ログインを必要としないで、ユーザ オプション Web ページにアクセスできることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードは、システム管理者にお問い合せください。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション] ホーム ページが表示されます。このページから [ユーザ オプション] を選択すると、デバイスを選択してユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、ファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプション Web ページからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-

ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
[デバイス設定] ウィンドウが表示されます。[デバイス設定] ウィンドウの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** (任意) 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス (電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル) を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。
-

ユーザ オプション Web ページの操作

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

設定オプションの選択

手順

-
- ステップ 1** ユーザオプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション]を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。
- ステップ 2** 他のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。
-

Web 上での機能およびサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザオプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。 [ユーザオプション Web ページの操作](#)、(84 ページ) を参照してください。

Web でのパーソナル ディレクトリ

Web のパーソナル ディレクトリは次のように構成されています。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- ファストダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

PAB およびファストダイヤルには、電話機からもアクセスできます。 [パーソナルディレクトリ](#)、(76 ページ) を参照してください。

この項では、ユーザオプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

新規個人アドレス帳エントリの追加

手順

-
- ステップ 1** ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[個人アドレス帳]を選択します。
- ステップ 2** [新規追加]を選択します。
- ステップ 3** エントリの情報を入力します。
- ステップ 4** [保存]を選択します。
-

個人アドレス帳エントリの検索

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[個人アドレス帳] を選択します。
 - ステップ 2 検索情報を指定して、[検索] を選択します。
-

個人アドレス帳エントリの編集

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ 3 ニックネームを選択します。
 - ステップ 4 必要に応じてエントリを編集し、[保存] を選択します。
-

個人アドレス帳エントリの削除

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
 - ステップ 3 1 つ以上のエントリを選択します。
 - ステップ 4 [選択項目の削除] を選択します。
-

回線ボタンの PAB への割り当て



- (注) 回線ボタンを PAB に割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
-

手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [サービス URL] をクリックします。
- ステップ 3 [ボタン] ドロップダウンリスト ボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。
- ステップ 4 ボタンの電話ラベルを入力します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。
- ステップ 6 [リセット] をクリックしてから、[リスタート] をクリックします。電話機の設定が更新されます。回線ボタンを押して PAB コードにアクセスできるようになります。

アドレス帳同期ツール

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期できます。

Microsoft Windows アプリケーションから : TABSynch ツールを使用して、PAB を Microsoft Windows Address Book (WAB) と同期できます。Microsoft Outlook Address Book (OAB) を使用する場合、OAB から WAB にデータをインポートして開始します。TabSynch を使用して、WAB と個人アドレス帳を同期化できます。

システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。

ファストダイヤルのセットアップ

ユーザ オプション Web ページから、ファストダイヤルエントリを追加、削除、または更新できます。

最大 500 個のファストダイヤルおよび PAB エントリを作成できます。PAB エントリを使用しなくても、新規のファストダイヤルエントリを作成できます。新規のファストダイヤルエントリは、ユーザ オプション Web ページに「raw」とラベル表示され、設定可能なテキストラベルは表示されません。

個人アドレス帳エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
 - ステップ 2 [新規追加]を選択します。
 - ステップ 3 [検索オプション]領域を使用して、目的の個人アドレス帳エントリを検索します。
 - ステップ 4 [検索結果]領域の電話番号を選択します。
 - ステップ 5 (任意) ファストダイヤルコードを変更します。
 - ステップ 6 [保存]を選択します。
-

個人アドレス帳エントリを使用しない電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
 - ステップ 2 [新規追加]を選択します。
 - ステップ 3 (任意) ファストダイヤルコードを変更します。
 - ステップ 4 電話番号を入力します。
 - ステップ 5 [保存]を選択します。
-

ファストダイヤルエントリの検索

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
 - ステップ 2 検索情報を指定して、[検索]を選択します。
-

ファストダイヤル電話番号の編集

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
- ステップ 2 編集するファストダイヤルエントリを検索します。
- ステップ 3 エントリのコンポーネントを選択します。
- ステップ 4 電話番号を変更します。
- ステップ 5 [保存]を選択します。

ファストダイヤル個人アドレス帳エントリの削除

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、ファストダイヤルエントリを検索します。
- ステップ 2 1つ以上のエントリを選択します。
- ステップ 3 [選択項目の削除]を選択します。

ファストダイヤルの機能ボタンの割り当て

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス]を選択します。
- ステップ 2 システム管理者より支給された [サービス URL] を選択します。
- ステップ 3 [ボタン] ドロップダウンリストボックスで [ファストダイヤル] サービスを選択します。
- ステップ 4 ボタンの電話ラベルを入力します。
- ステップ 5 [保存]を選択します。
- ステップ 6 [リセット]を選択してから [リスタート]を選択し、電話の設定を更新します。

Web でのスピードダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

スピードダイヤル機能の使い方については、[スピードダイヤル](#)、(43 ページ) を参照してください。

スピードダイヤル ボタンの設定

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 3 [スピードダイヤル] を選択します。
- ステップ 4 [スピードダイヤル設定] 領域で、電話機のスピードダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
- ステップ 5 [保存] を選択します。

短縮ダイヤル コードの設定




手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ 3 [スピードダイヤル] をクリックします。
- ステップ 4 短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。

Web での電話機サービスのセットアップ

電話サービスには、特別な電話機の機能、ネットワーク データ、Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）などがあります。電話サービスにアクセスする前に、まず電話サービスに登録する必要があります。

回線キーのボタンを使用して、[サービス]、[メッセージ] および [ディレクトリ] の各メニューを選択します。

-  (☎) > [サービス]
-  (☎) > [メッセージ]
-  (☎) > [ディレクトリ]

設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開かれます。

設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニュー オプションからサービスを選択します。



(注) 電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

サービスの登録

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]> [デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
- ステップ 3 [IP Phone サービス] を選択します。
- ステップ 4 [新規追加] を選択します。
- ステップ 5 ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] を選択します。
- ステップ 6 (任意) 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力したりします。
- ステップ 7 [保存] を選択します。

サービスの検索

手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、デバイスを選択します。
- ステップ 2 [IP Phone サービス] を選択します。
- ステップ 3 [検索] を選択します。

サービスの変更または解除

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
 - ステップ 2** 1つ以上のエントリを選択します。
 - ステップ 3** [選択項目の削除] を選択します。
-

サービス名の変更

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
 - ステップ 2** サービス名を選択します。
 - ステップ 3** 情報を変更して [保存] を選択します。
-

プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2** [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ 3** [サービス URL] を選択します。
電話機のサービス URL ボタンは、システム管理者が設定します。
 - ステップ 4** [ボタンサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択します。
 - ステップ 5** (任意) サービスの名前を変更する場合は、ラベルフィールドを編集します。
電話機が、2 バイト文字セットをサポートしていない場合、ASCII ラベル フィールドが使用されます。
 - ステップ 6** [保存] を選択します。
 - ステップ 7** [リセット] を選択して、電話機の新しいボタンラベルを表示するために電話機をリセットします。
-

ユーザ設定

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

ヒント

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナルディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナルコンピュータでユーザオプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ブラウザのパスワードの変更

手順

- ステップ 1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ユーザ設定] を選択します。
- ステップ 2 現在のパスワードを入力します。
- ステップ 3 新しいパスワードを入力します。
- ステップ 4 [パスワードの確認] フィールドに新しいパスワードを再度入力します。
- ステップ 5 [保存] を選択します。

PIN の変更

手順

- ステップ 1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ユーザ設定] を選択します。
- ステップ 2 現在の PIN を入力します。
- ステップ 3 新しい PIN を入力します。
- ステップ 4 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
- ステップ 5 [保存] を選択します。

ユーザオプションの言語の変更

手順

- ステップ 1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ユーザ設定] を選択します。
- ステップ 2 [ユーザロケール] 領域で [ロケール] ドロップダウンリストから項目を選択します。
- ステップ 3 [保存] を選択します。

電話機のディスプレイの言語の変更

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザ ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
- ステップ 3** [保存] を選択します。
-

Web での回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイス メッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：[コール転送](#)、[\(33 ページ\)](#) を参照してください。
- 呼出音、表示、およびその他の電話機モデルに固有の設定を変更する：[電話機のカスタマイズ](#)、[\(67 ページ\)](#) を参照してください。

回線ごとにコール転送を設定

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2** [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
- ステップ 3** [回線の設定] を選択します。
- ステップ 4** 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ 5** [着信コールの転送] 領域で、さまざまな状況に対してコール転送設定を選択します。
- ステップ 6** [保存] を選択します。
-

回線ごとにボイス メッセージのインジケータの設定を変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 4 (任意) 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 5 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。
通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定の変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号 (回線) が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 5 [オーディオ メッセージ受信ランプ] 領域で、必要な設定を選択します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

電話機ディスプレイの回線テキスト ラベルの編集

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 5 [回線のテキスト ラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

モバイルコネクト用の電話機およびアクセスリストの設定

デスク電話と同じ電話番号を使用して、コールを発信および受信するには、その前に、携帯電話（および使用する他のすべての電話）を Cisco モバイルコネクトに追加する必要があります。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

アクセス リストの作成

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[アクセス リスト] を選択します。
 - ステップ 2 [新規追加] を選択します。
 - ステップ 3 （任意） アクセス リストを識別する名前と説明を入力します。
 - ステップ 4 指定されたコールをアクセス リストで許可するのか、ブロックするのかを選択します。
 - ステップ 5 [保存] を選択します。
 - ステップ 6 [メンバーの追加] を選択すると、リストに電話番号やフィルタを追加できます。
 - ステップ 7 [フィルタ マスク] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、発信者 ID が制限されている（使用不可）コール、発信者 ID 非通知（非通知）のコールをフィルタすることができます。
 - ステップ 8 [フィルタ マスク] ドロップダウン リストボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタを定義するときは、次のワイルドカードを使用できます。

X (大文字または小文字)

1桁の数字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。

!

任意の桁の数字と一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。

#

完全一致用の 1 桁の数字として使用します。

ステップ 9 アクセス リストにこのメンバーを追加するには、[保存] を選択します。

ステップ 10 アクセス リストを保存するには、[保存] を選択します。

新しいリモート接続先の追加

手順

ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[モビリティ設定]>[リモート接続先] を選択します。

ステップ 2 [新規追加] を選択します。

ステップ 3 次の情報を入力します。

- [名前]: 携帯 (またはその他の) 電話の名前を入力します。
- [接続先番号]: 携帯電話番号を入力します。

ステップ 4 ドロップダウン リストボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されています。

ステップ 5 [携帯電話] チェックボックスをオンにすると、デスクの電話機から送信されるコールをリモート接続先で受け付けます。

ステップ 6 [モバイルコネクトの有効化] チェックボックスをオンにすると、デスクの電話機と同時にリモート接続先が呼び出されます。

ステップ 7 [呼び出しスケジュール] 領域で、次のいずれかのオプションを選択します。

- [常に]: 曜日や時刻を制限せずにリモート接続先で着信音を鳴らす場合は、このオプションを選択します。
- [次に指定されたとおりに]: 曜日や時刻に基づいて呼び出しスケジュールを設定する場合にこのオプションを選択し、次の項目から選択します。

- リモート接続先の呼び出しを許可する各曜日のチェックボックスをオンにします。
- それぞれの曜日について、[終日]を選択するか、ドロップダウンリストから開始時刻と終了時刻を選択します。
- ドロップダウン リストからタイム ゾーンを選択します。

呼び出しスケジュールのドロップダウンリストボックスには、作成したアクセスリストだけが表示されます。

ステップ 8 以下の着信音オプションから 1 つ選択します。

- [常にこの接続先を呼び出す]
- [選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す]
- [選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合には、この接続先を呼び出さない]

ステップ 9 [保存] を選択します。

Cisco WebDialer

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ内の連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。この機能はシステム管理者が設定します。

ユーザ オプション ディレクトリでの WebDialer の使用

手順

- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2** [ユーザ オプション] > [ディレクトリ] を選択して同僚を検索します。
 - ステップ 3** ダイアルする番号をクリックします。
 - ステップ 4** WebDialer を初めて使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページで初期設定を行います。
 - ステップ 5** [ダイアル] をクリックします。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ 6** コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話機から切断します。
-

別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザオプションディレクトリではないもの）での WebDialer の使用

手順

-
- ステップ 1** WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。
- ステップ 2** ダイヤルする番号をクリックします。
- ステップ 3** プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
- ステップ 4** WebDialer を初めて使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページで初期設定を行います。
- ステップ 5** [ダイヤル] をクリックします。
これで電話機からコールが発信されます。
- ステップ 6** コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話機から切断します。
-

WebDialer からのログアウト


手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] ページまたは [Cisco WebDialer - 終了] ページの [ログアウト] アイコンをクリックします。

WebDialer の初期設定の設定、表示または変更

手順

-
- ステップ 1** [Cisco WebDialer - コールの開始] ページにアクセスします。
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます（ダイヤルする番号をクリックした後）。
- ステップ 2** （オプション）設定を変更します。
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページには、次のオプションがあります。
- 優先する言語：WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。
 - 優先するデバイスを使用する：WebDialer コールを発信するのに使用する Cisco Unified IP Phone（コールに使用するデバイス）とディレクトリ番号（コールに使用する回線）を識別します。1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。

複数の電話機を使用している場合、デバイスの種類および MAC アドレスで指定します（電話機の MAC アドレスを表示するには、 > [設定] > [ネットワーク設定] > [MAC アドレス] を選択します）。

（注） エクステンション モビリティ プロファイルがある場合、発信デバイスのメニューから、エクステンション モビリティ ログイン デバイスを選択できます。

- [コールの確認ダイアログを表示しない]：選択した場合、WebDialer が [Cisco WebDialer - コールの開始] ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。
 - 自動終了の無効化：これを選択すると、コール ウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。
-



第 9 章

その他のオプション

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、システム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html 日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ipp.shtml

| 目的または状態 | 操作 | 参照先または問い合わせ先 |
|--------------------|--|---|
| 電話回線が 1 本では足りない | 1 つ以上の追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。 | システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。 |
| スピードダイヤルボタンが足りない | まず、現在利用可能なスピードダイヤルボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。 追加のスピードダイヤルボタンが必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤルサービスへの登録を検討してください。 | スピードダイヤル 、(43 ページ) を参照してください。 |
| 1 つの内線を複数の電話機で使用する | 共有回線が必要です。たとえば、共有回線を使用することで 1 つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用できます。 | 共有回線 、(50 ページ) を参照してください。 |

| 目的または状態 | 操作 | 参照先または問い合わせ先 |
|---|---|---|
| 電話機やオフィススペースを同僚と共有している | <p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できます。 | <p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理、(43 ページ)。 • 共有回線、(50 ページ)。 • Cisco エクステンション モビリティ、(56 ページ)。 |
| 頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する | 電話機で自動応答をセットアップするようにシステム管理者に依頼します。 | ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答 、(65 ページ) を参照してください。 |
| ビデオコールを発信する必要がある | Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオカメラを使用してビデオコールを発信できます。 | 詳細については、システム管理者にお問い合わせください。また、『 <i>Cisco Unified VT Advantage Quick Start Guide</i> 』および『 <i>Cisco Unified VT Advantage User Guide</i> 』を参照してください。 |
| 電話機のスピードダイヤルボタンに関連付けられている電話回線の状態を判断する | 電話機でビジー ランプ フィールド (BLF) をセットアップするようにシステム管理者に依頼します。 | ビジー ランプ フィールド機能 、(52 ページ) を参照してください。 |
| 自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する | Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。 | Cisco エクステンション モビリティ 、(56 ページ) を参照してください。 |



第 10 章

トラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

- [問題, 103 ページ](#)
- [電話機のトラブルシューティング データ, 106 ページ](#)
- [品質レポート ツール, 106 ページ](#)

問題

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない

問題

ダイヤル トーンが聞こえないか、コールを完了できない。

原因

次の状況の 1 つ以上が当てはまります。

- エクステンション モビリティ サービスに接続されていません。
- 電話番号をダイヤルした後で、クライアント識別コード (CMC) または強制承認コード (FAC) を入力する必要があります (SCCP 電話機のみ)。
- 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。

ソリューション

次の手順を試してみてください。

- エクステンション モビリティ サービスにログインします。
- 電話番号をダイヤルした後で、CMC または FAC を入力します（SCCP 電話機のみ）。
- 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっています。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

表示されないソフトキー

問題

使用したいソフトキーが表示されていない。

原因

次の状況の 1 つ以上が当てはまります。

- 別のソフトキーが表示されている。
- 回線の状態によって電話機のソフトキーが決まる。
- 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されてない。

ソリューション

次のいずれかのオプションを使用してください。

- [次へ] を押して、追加のソフトキーを表示します。
- 回線の状態を変更します（オフフックにする、または接続コールにするなど）。
- システム管理者に問い合わせ、機能へのアクセスを要求します。

折返しを使用できない

問題

[折返し] が失敗する。

原因

通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

すべてのコールの転送エラーメッセージ

問題

すべてのコールの転送を設定しようとする、電話機にエラーメッセージが表示される。

原因

すべてのコールの転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、すべてのコール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはすべてのコール転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップカウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。

ソリューション

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

電話機が反応しない

問題

電話スクリーンに空白が表示され、表示ボタンが点灯しない。

原因

電話機は、節電のために電源オフ（スリープ中）になっています。

ソリューション

電話機は、システムがウェイクアップメッセージを送信すると電源オン（復帰した状態）になります。スケジュールされた電源オン時間よりも前に電話機を復帰させることはできません。

セキュリティ エラーメッセージ

問題

電話機に「セキュリティ エラー」が表示される。

原因

電話機のファームウェアによって内部エラーが検出されました。

ソリューション

メッセージが引き続き表示される場合は、システム管理者に問い合わせてください。

[設定]メニューにアクセスできない

問題

[アプリケーション]メニューの[設定]メニューが使用できない。

原因

システム管理者が、電話機で[設定]を無効にしている可能性があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

電話機のトラブルシューティング データ

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

| 目的 | 操作 |
|-------------------------|---|
| ネットワーク構成データにアクセスする | ● (🔒) > [設定] > [ネットワーク設定] を選択し、表示するネットワーク設定の項目を選択します。 |
| ステータス データにアクセスする | ● (🔒) > [設定] > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。 |
| 電話機のモデル情報にアクセスする | ● (🔒) > [設定] > [モデル情報] を選択します。 |
| 電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする | ● (🔒) > [設定] > [ステータス] > [コール統計] を選択します。 |

品質レポート ツール

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に品質レポートツール (QRT) が設定されることがあります。システム管理者に情報を送信するには、[品質]を押します。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートする

- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する



第 11 章

保証

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 109 ページ

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__html

